

【表紙】

- 【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書
- 【提出先】 関東財務局長殿
- 【提出日】 平成25年6月14日提出
- 【発行者名】 野村アセットマネジメント株式会社
- 【代表者の役職氏名】 CEO兼執行役会長兼社長 岩崎俊博
- 【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋一丁目12番1号
- 【事務連絡者氏名】 松井 秀仁
連絡場所 東京都中央区日本橋一丁目12番1号
- 【電話番号】 03-3241-9511
- 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネープールファンド)年2回決算型
- 【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】 継続募集額(平成24年12月15日から平成25年12月13日まで)
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型
2兆円を上限とします。
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネープールファンド)年2回決算型
2兆円を上限とします。
- * なお、継続申込期間（以下「申込期間」といいます。）は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
- 【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、平成24年12月14日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報により訂正するため、また「第二部 ファンド情報」および「第三部 委託会社等の情報」に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

[2]「野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替ヘッジ手法の異なるコースおよびマネープールファンドから構成されています。各コースには「毎月分配型」および「年2回決算型」があります。(マネープールファンドは年2回決算型のみ。)

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替ヘッジ手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産に対し、原則として為替ヘッジを行ないません。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産を、原則として対豪ドルで為替ヘッジを行ないます。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産を、原則として対ブラジルリアルで為替ヘッジを行ないます。
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産については、原則として対選定通貨（ただし、米ドルが選定通貨のひとつとなる場合は、これを除きます。）で為替ヘッジを行ないます。

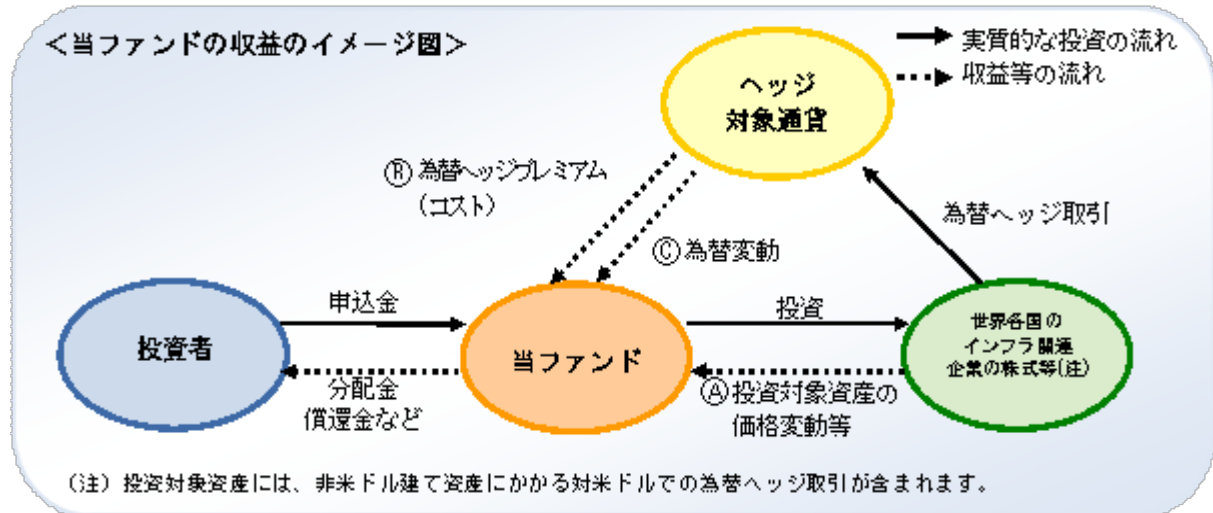
選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した通貨を指します。

詳細は、後述の「（参考）投資対象とする外国投資信託について」をご覧ください。

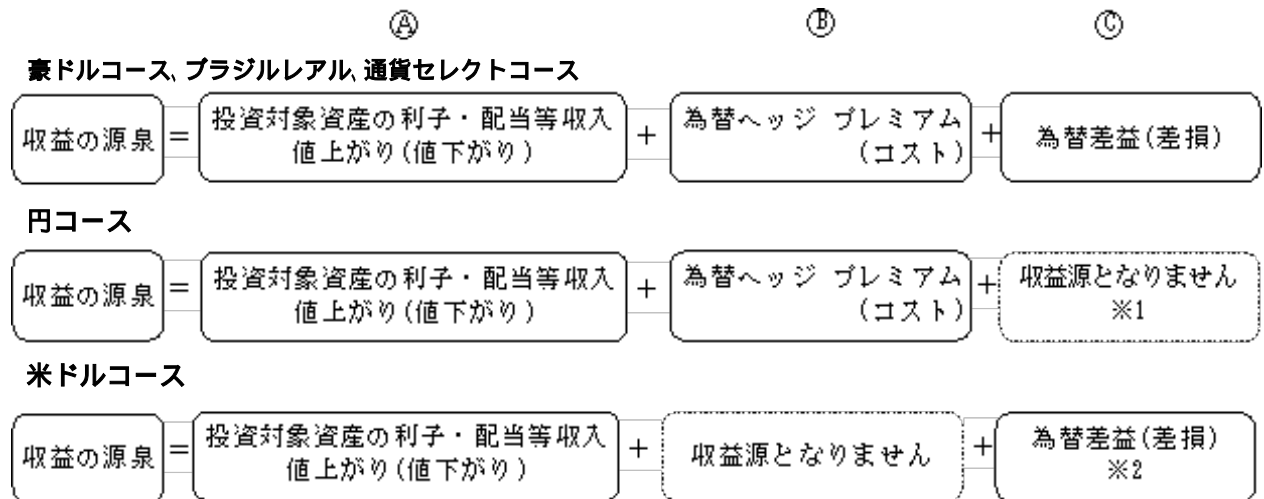
（中略）

当ファンドの収益のイメージ

当ファンドは、投資対象資産の運用に加えて、為替ヘッジ取引による通貨の運用も行なっております。



各コースの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。（括弧内は、損失やコストの発生要因を表します。）



1 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

2 米ドルコースでは、原則として為替ヘッジ取引を行わないため、米ドルの為替変動の影響を受けます。

		・ヘッジ対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	・円に対してヘッジ対象通貨高
収益を得られる ケース	株式価格等の上昇	ヘッジプレミアムの発生	為替差益の発生
損失やコストが 発生するケース	株式価格等の下落	ヘッジコストの発生	為替差損の発生
		・ヘッジ対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利	・円に対してヘッジ対象通貨安

ヘッジ対象通貨が新興国通貨の場合などは、為替ヘッジプレミアム／コストに短期金利差がそのまま反映されない場合があります。

市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

信託金の限度額

信託金限度額は、各ファンドにつき各々1兆円です。ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

< 商品分類 >

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

（中略）

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。

なお、下記社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。

《社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》 <http://www.toushin.or.jp/>

社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（平成22年7月1日現在）

（以下略）

< 訂正後 >

(1) ファンドの目的及び基本的性格

（前略）

[2] 「野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替取引手法の異なるコースおよびマネープールファンドから構成されています。各コースには「毎月分配型」および「年2回決算型」があります。(マネープールファンドは年2回決算型のみ。)

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、選定通貨（米ドルを除く）を買う為替取引を行いません。

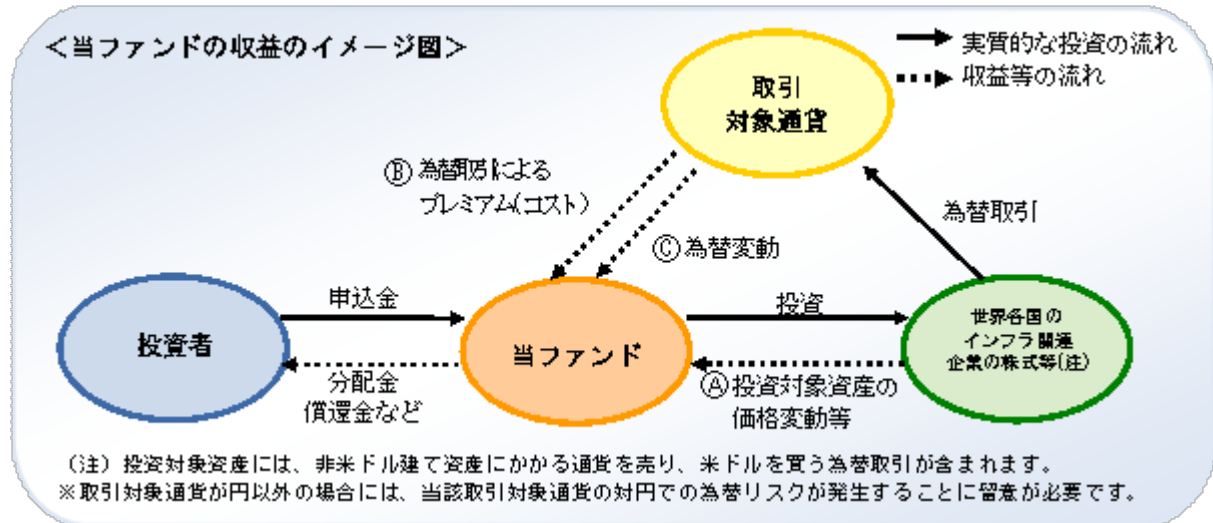
選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した通貨を指します。

詳細は、後述の「（参考）投資対象とする外国投資信託について」をご覧ください。

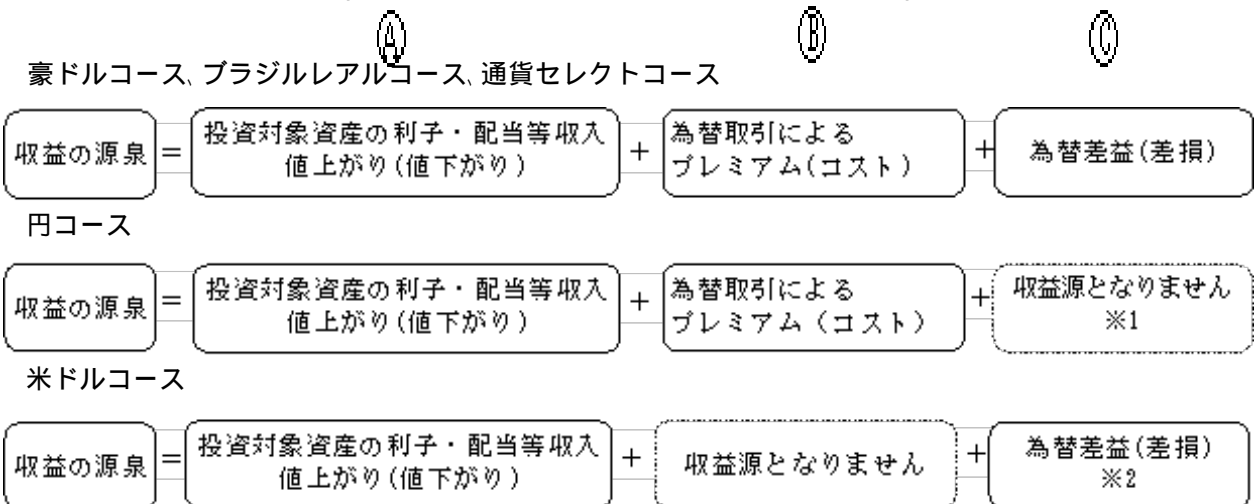
（中略）

当ファンドの収益のイメージ

当ファンドは、投資対象資産の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行なっております。

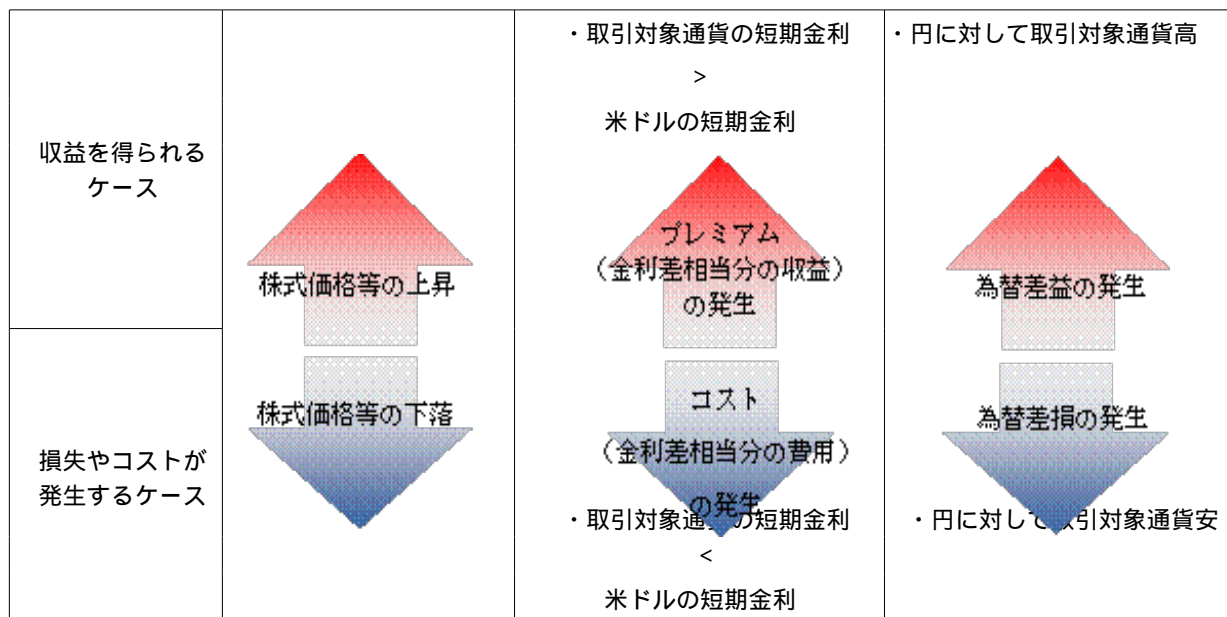


各コースの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。（括弧内は、損失やコストの発生要因を表します。）



1 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

2 米ドルコースでは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円で為替変動の影響を受けます。



取引対象通貨が新興国通貨の場合などは、為替取引によるプレミアム/コストに短期金利差がそのまま反映されない場合があります。
市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

信託金の限度額

信託金限度額は、各ファンドにつき各々1兆円です。ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

< 商品分類 >

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。

（中略）

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。

なお、下記一般社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。

《一般社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》 <http://www.toushin.or.jp/>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（平成22年7月1日現在）

（以下略）

< 訂正前 >

(3) ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（中略）

・ 資本金の額

平成24年10月末現在、17,180百万円

・ 会社の沿革

（中略）

・ 大株主の状況(平成24年10月末現在)

（以下略）

< 訂正後 >

(3) ファンドの仕組み

（前略）

委託会社の概況

委託会社

（中略）

・ 資本金の額

平成25年4月末現在、17,180百万円

・会社の沿革

(中略)

・大株主の状況(平成25年4月末現在)

(以下略)

2 投資方針

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)投資方針

<各コース>

(前略)

- ・「ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド」には、為替、ヘッジ手法の異なる4つのクラスがあります。
- ・「野村マネー マザーファンド」について、詳しくは「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 2 投資方針 (参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

(以下略)

<訂正後>

(1)投資方針

<各コース>

(前略)

- ・「ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド」には、為替、取引手法の異なる5つのクラスがあります。
- ・「野村マネー マザーファンド」について、詳しくは後述の「第1 ファンドの状況 2 投資方針 (参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

(以下略)

<訂正前>

(2)投資対象

(前略)

(参考)投資対象とする外国投資信託について

ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド

クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL / 通貨セレクトクラス

(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)

<運用の基本方針>

主要投資対象	世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等
投資方針	<p>・世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。なお、カナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストにも投資を行ないます。</p> <p>・ポートフォリオ構築にあたっては、トップ・ダウン分析とボトム・アップ分析を組み合わせ、投資銘柄を絞り込みます。</p> <p>・銘柄の選定にあたっては、配当の安定性や成長性、企業の業績、キャッシュフロー予測、資本構造、市場価格対比での純資産価値等に着目し、主として、予想配当利回りが市場平均を上回る銘柄に投資を行ないます。</p> <p>・国別配分、セクター配分の決定にあたっては、各国・地域の経済成長見通し、各セクターの動向、資本移動、為替動向等を総合的に勘案します。</p> <p>・米ドル建以外の資産に投資を行なった場合は、副投資顧問会社が当該資産について、<u>原則として対米ドルで為替ヘッジ</u>を行ないます。</p> <p>・ファンドには5つのクラス(クラスJPY/クラスUSD/クラスAUD/クラスBRL/通貨セレクトクラス)があり、クラスごとに、組入資産について、<u>原則として、各クラスの通貨（通貨セレクトクラスについては、米ドル以外の選定通貨）で為替ヘッジ</u>を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。(クラスUSDについては、<u>為替ヘッジを行ないません。</u>)</p> <p><通貨セレクトクラスにおける通貨運用方針></p> <p>・原則として、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード構成国の通貨の中から、金利水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、相対的に金利が高い5つの通貨を選定することを基本とします。選定通貨は、定期的に(原則、毎月)見直すこととします。</p> <p>・1通貨当りのエクスポージャーについては、原則として、純資産総額の10%～30%程度の範囲内に維持することを基本とします。</p> <p>・ファンダメンタルズおよび流動性を考慮して、選択される通貨が4以下または6以上となる場合があります。この場合、1通貨当りのエクスポージャーは上記の範囲を超える場合があります。</p>
主な投資制限	<p>・同一発行体の証券への投資は、原則としてファンドの純資産総額の15%以内とします。</p> <p>・MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等への投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の50%以内とします。</p> <p>・インカム・トラストへの投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の20%以内とします。</p> <p>・投資信託証券(上場投資信託証券を除く。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。</p> <p>・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</p>
収益分配方針	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	当初設定日(平成22年10月29日)より3年経過後において、全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合にはファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。
< 主な関係法人 >	
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
副投資顧問会社	リーフ・アメリカ・エル・エル・シー ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー
< 管理報酬等 >	

信託報酬	[通貨セレクトクラスを除く各クラス] 純資産総額の1.00%(年率) [通貨セレクトクラス] 通貨セレクトクラスの純資産総額に応じて次の通りです。 ・500億円以下の部分 1.15%(年率) ・500億円超の部分 1.10%(年率)
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.30%(当初1口=1万円)
その他の費用	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。 ファンドの設立に係る費用(3年を超えない期間にわたり償却)。

上記のほか、社団法人投資信託協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

(以下略)

<訂正後>

(2)投資対象

(前略)

(参考)投資対象とする外国投資信託について

ノムラ・カレンシー・ファンド - グローバル・インフラ・ストック・ファンド
クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL / 通貨セレクトクラス
(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)

<運用の基本方針>	
主要投資対象	世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等

投資方針	<p>・世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。なお、カナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストにも投資を行ないます。</p> <p>・ポートフォリオ構築にあたっては、トップ・ダウン分析とボトム・アップ分析を組み合わせ、投資銘柄を絞り込みます。</p> <p>・銘柄の選定にあたっては、配当の安定性や成長性、企業の業績、キャッシュフロー予測、資本構造、市場価格対比での純資産価値等に着目し、主として、予想配当利回りが市場平均を上回る銘柄に投資を行ないます。</p> <p>・国別配分、セクター配分の決定にあたっては、各国・地域の経済成長見通し、各セクターの動向、資本移動、為替動向等を総合的に勘案します。</p> <p>・米ドル建以外の資産に投資を行なった場合は、<u>副投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。</u></p> <p>ファンドには5つのクラス(クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL / 通貨セレクトクラス)があり、クラスごとに、組入資産について、<u>原則として、米ドルを売り、各クラスの通貨（通貨セレクトクラスについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行なうこと</u>で、各通貨への投資効果を追求します。クラスUSDについては、<u>対円で為替ヘッジを行わず、米ドルへの投資効果を追求します。</u></p> <p><通貨セレクトクラスにおける通貨運用方針></p> <p>・原則として、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード構成国の通貨の中から、金利水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、相対的に金利が高い5つの通貨を選定することを基本とします。選定通貨は、定期的に(原則、毎月)見直すこととします。</p> <p>・1通貨当りのエクスポージャーについては、原則として、純資産総額の10%～30%程度の範囲内に維持することを基本とします。</p> <p>・ファンダメンタルズおよび流動性を考慮して、選択される通貨が4以下または6以上となる場合があります。この場合、1通貨当りのエクスポージャーは上記の範囲を超える場合があります。</p>
主な投資制限	<p>・同一発行体の証券への投資は、原則としてファンドの純資産総額の15%以内とします。</p> <p>・MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等への投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の50%以内とします。</p> <p>・インカム・トラストへの投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の20%以内とします。</p> <p>・投資信託証券(上場投資信託証券を除く。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。</p> <p>・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</p>
収益分配方針	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	当初設定日(平成22年10月29日)より3年経過後において、全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合にはファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。
< 主な関係法人 >	
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
副投資顧問会社	リーフ・アメリカ・エル・エル・シー ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー
< 管理報酬等 >	

信託報酬	[通貨セレクトクラスを除く各クラス] 純資産総額の1.00%（年率） [通貨セレクトクラス] 通貨セレクトクラスの純資産総額に応じて次の通りです。 ・500億円以下の部分 1.15%（年率） ・500億円超の部分 1.10%（年率）
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.30%（当初1口＝1万円）
その他の費用	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。 ファンドの設立に係る費用（3年を超えない期間にわたり償却）。

上記のほか、一般社団法人投資信託協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

（以下略）

<訂正前>

(3) 運用体制

（前略）

委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、SAS70(受託業務にかかわる内部統制について評価する監査人の業務に関する基準)に基づく受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

ファンドの運用体制等は有価証券届出書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

(3) 運用体制

（前略）

委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は有価証券届出書提出日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3 投資リスク

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

基準価額の変動要因

（前略）

各コース

（中略）

[MLPの価格変動リスク]

MLPIは、投資プロジェクト等の収益源から得られる収入や市場金利の変動、MLP市況や株式市場の動向等により、価格が変動します。ファンドは実質的にMLPに投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

また、同様のテーマで株式に投資した場合とは、基準価額の動きが大きく異なる場合があります。

[為替変動リスク]

円コースは、投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

円コースを除く各コースは、投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として各コースの通貨(通貨セレクトコースについては、米ドル以外の選定通貨)で為替ヘッジを行ないますので、各コースの通貨の対円での為替変動の影響を受けます。

一部のコースが対象とする新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高く、その結果、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

ただし、各コースとも完全にヘッジすることは出来ませんので、当該組入資産にかかる通貨の对各コースの通貨での為替変動の影響を受ける場合があります。また、各通貨の金利が当該組入資産にかかる通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。

（中略）

その他の留意点

（中略）

各コースに関する留意点

- ・各コースが各々投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合は、当該コースを繰上償還させます。
- ・各コースは、株式に比べ相対的に市場の流動性が低いMLPに実質的に投資を行ないますので、市場の混乱時やファンドに大量の資金変動が生じた場合、その他投資環境等によっては、機動的に売買を行なえない場合があります。

- ・各コースは、外国投資信託を通じて米国の金融商品取引所に上場されているMLPおよびカナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストに実質的に投資を行いません。当該外国投資信託が籍を置くケイマン諸島は、米国、カナダいずれの国との間においても租税条約がなく軽減税率が適用されない等の事情により、外国投資信託が収受するMLPの分配金については最大で35%の源泉税が、インカム・トラストの配当金については25%の源泉税が、それぞれ差し引かれます。

これらの記載は、平成24年10月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものです。税率等は、現地の税制が変更された場合等は変更になる場合があります。

- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、投資信託約款の規定に従い、委託会社の判断でファンドの購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを中止すること、および既に受付けた購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを取り消す場合があります。
- ・外国投資信託の組入資産について為替ヘッジを行なう一部の新興国の為替市場においては、内外の為替取引の自由化が実施されておらず、実際の現地通貨での金銭の受渡に制約があるため、ファンドはNDF（ノン・デリバブル・フォワード）を用いて為替ヘッジを行なう場合があります。NDFの取引価格の値動きと、実際の為替市場の値動きは、需給などの市況や規制等により大きく乖離する場合があります。その結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や、金利市場の動向から想定されるものから大きく乖離する場合があります。なお、今後、NDFが利用できなくなった場合、ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。

NDFとは、為替取引を行なう場合に利用する直物為替先渡取引の一種で、当該国の通貨を用いず、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

（以下略）

<訂正後>

基準価額の変動要因

（前略）

各コース

（中略）

[MLPの価格変動リスク]

MLPは、投資プロジェクト等の収益源から得られる収入や市場金利の変動、MLP市場や株式市場の動向等により、価格が変動します。ファンドは実質的にMLPに投資を行ないますので、これらの影響を受けます。MLP市場は株式市場に比べ相対的に流動性が低いことから、市場の混乱時等において、相対的に価格の変動が大きくなる場合があります。

また、同様のテーマで株式に投資した場合とは、基準価額の動きが大きく異なる場合があります。

[為替変動リスク]

各コースの為替変動リスクは以下の通りです。

<円コース>

- ・投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、完全にヘッジすることは出来ませんので、当該組入資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合があります。

<米ドルコース>

・投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドルベース）一について、原則として対円で為替ヘッジを行ないませんので、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。

米ドル建て以外の資産に投資を行ない、当該資産にかかる通貨売り、米ドル買いの為替取引を行なった場合も含まれます。

<円コースおよび米ドルコース以外の各コース>

・投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドルベース）一について、原則として米ドルを売り、各コースの通貨（通貨セレクトコースについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行ないますので、各コースの通貨の対円での為替変動の影響を受けます。ただし、外国投資信託の組入資産（米ドルベース）一の額と当該為替取引における米ドル売りの額は必ずしも一致しないため、期待した投資効果が得られない場合があります。その場合、米ドルの対円での為替変動の影響も受けることとなります。

米ドル建て以外の資産に投資を行ない、当該資産にかかる通貨売り、米ドル買いの為替取引を行なった場合も含まれます。

・一部のコースが対象とする新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高く、その結果、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

各コース（円コースを除く）において、米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないますが、当該資産の額と当該資産にかかる通貨の売りの額は必ずしも一致しないため、当該資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合もあります。

各コース（米ドルコースを除く）の通貨の金利が当該組入資産にかかる通貨の金利より低い場合、為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）がかかるため、基準価額の変動要因となります。

（中略）

その他の留意点

（中略）

各コースに関する留意点

- ・各コースが各々投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合は、当該コースを繰上償還させます。
- ・各コースは、株式に比べ相対的に市場の流動性が低いMLPに実質的に投資を行ないますので、市場の混乱時やファンドに大量の資金変動が生じた場合、その他投資環境等によっては、機動的に売買を行なえない場合があります。
- ・各コースは、外国投資信託を通じて米国の金融商品取引所に上場されているMLPおよびカナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストに実質的に投資を行ないます。当該外国投資信託が籍を置くケイマン諸島は、米国、カナダいずれの国との間においても租税条約がなく軽減税率が適用されない等の事情により、当該外国投資信託が収受するMLPの分配金については最大で35%の源泉税が、インカム・トラストの配当金については25%の源泉税が、それぞれ差し引かれます。また、MLP投資においては、上記源泉税に加えて、その他の税が課せられる場合があります。

これらの記載は、平成25年4月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものです。税率等は、現地の税制が変更された場合等は変更になる場合があります。

- ・金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、投資信託約款の規定に従い、委託会社の判断でファンドの購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを中止すること、および既に受付けた購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを取り消す場合があります。
- ・外国投資信託の組入資産について為替取引を行なう一部の新興国の為替市場においては、内外の為替取引の自由化が実施されておらず、実際の現地通貨での金銭の受渡に制約があるため、ファンドはNDF（ノン・デリバラブル・フォワード）を用いる場合があります。NDFの取引価格の値動きと、実際の為替市場の値動きは、需給などの市況や規制等により大きく乖離する場合があります。その結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や、金利市場の動向から想定されるものから大きく乖離する場合があります。なお、今後、NDFが利用できなくなった場合、ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。

NDFとは、為替取引を行なう場合に利用する直物為替先渡取引の一種で、当該国の通貨を用いず、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

- ・店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用するNDFが当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

（以下略）

4 手数料等及び税金

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(3)信託報酬等

(前略)

<マネーブルファンド(年2回決算型)>

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に次に掲げる率(以下「信託報酬率」といいます。)を乗じて得た額とします。

また、信託報酬およびその配分については、「コールレート」に応じて次の通り(税抜)とします。

<コールレート>	信託報酬率	<委託会社>	<販売会社>	<受託会社>
0.65%以上	年0.5775%(税抜0.55%)	年0.22%	年0.28%	年0.05%
0.4%以上0.65%未満	年0.3150%(税抜0.30%)	年0.13%	年0.14%	年0.03%
0.4%未満	年0.1575%(税抜0.15%)以内	年0.065%以内	年0.070%以内	年0.015%以内

前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの日々の信託報酬率は、当該各月の前月最終5営業日間の当該信託の日々の基準価額算出に用いたコール・ローンのオーバーナイト物レートの最低レート(「コールレート」といいます。)に応じた上記の率とします。なお、月中において、日々の基準価額算出に用いたコール・ローンのオーバーナイト物レートが信託報酬率を下回った場合には、その翌日以降の信託報酬率はそのコール・ローンのオーバーナイト物レートをコールレートとし、上記の率として見直す場合があります。

平成24年12月14日現在の信託報酬率は年0.021%(税抜年0.02%)となっております。

ファンドの信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

<訂正後>

(3)信託報酬等

(前略)

<マネーブルファンド(年2回決算型)>

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に次に掲げる率(以下「信託報酬率」といいます。)を乗じて得た額とします。

また、信託報酬およびその配分については、「コールレート」に応じて次の通り(税抜)とします。

<コールレート>	信託報酬率	<委託会社>	<販売会社>	<受託会社>
0.65%以上	年0.5775%(税抜0.55%)	年0.22%	年0.28%	年0.05%
0.4%以上0.65%未満	年0.3150%(税抜0.30%)	年0.13%	年0.14%	年0.03%

0.4%未満	年0.1575%(税抜 0.15%)以内	年0.065%以内	年0.070%以内	年0.015%以内
--------	-------------------------	-----------	-----------	-----------

前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの日々の信託報酬率は、当該各月の前月最終5営業日間の当該信託の日々の基準価額算出に用いたコール・ローンのオーバーナイト物レートの最低レート(「コールレート」といいます。)に応じた上記の率とします。なお、月中において、日々の基準価額算出に用いたコール・ローンのオーバーナイト物レートが信託報酬率を下回った場合には、その翌日以降の信託報酬率はそのコール・ローンのオーバーナイト物レートをコールレートとし、上記の率として見直す場合があります。

平成25年6月14日現在の信託報酬率は年0.021%(税抜年0.02%)となっております。

ファンドの信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

<訂正前>

(4)その他の手数料等

ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息等は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

ファンドに関する組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する費用(「マネープールファンド(年2回決算型)」の場合のみ)はファンドから支払われます。

ファンドに係る監査費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときにファンドから支払われます。

これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

<訂正後>

(4)その他の手数料等

ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息等は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

ファンドに関する組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額、先物取引・オプション取引等に要する費用(「マネープールファンド(年2回決算型)」の場合のみ)はファンドから支払われます。

ファンドに係る監査費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときにファンドから支払われます。

ファンドにおいて一部解約の実行に伴い、信託財産留保額一をご負担いただきます。信託財産留保額は、基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を1口あたりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)。

「信託財産留保額」とは、償還時まで投資を続ける投資家との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、クローズド期間の有無に関係なく、信託期間満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

*これらの費用等の中には、運用状況等により変動するものがあり、事前に料率、上限額等を表示することができないものがあります。

(5) 課税上の取扱い

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金 (5)課税上の取扱い」につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

<収益分配金に対する課税>

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、10.147%(国税(所得税及び復興特別所得税)7.147%および地方税3%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。上記10.147%の税率は平成26年1月1日以後、20.315%(国税15.315%および地方税5%)となる予定です。

なお、配当控除は適用されません。

<換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対する課税>

換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)については、申告分離課税により10.147%(国税7.147%および地方税3%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は10.147%の税率により源泉徴収が行なわれます。なお、上記10.147%の税率は平成26年1月1日以後、20.315%(国税15.315%および地方税5%)となる予定です。

[譲渡損失と収益分配金との間の損益通算について]

換金(解約)時および償還時の差損(譲渡損失)については、確定申告等により上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限り、)との通算が可能です。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、7.147%(国税7.147%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。上記7.147%の税率は平成26年1月1日以後、15.315%(国税15.315%)となる予定です。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

なお、益金不算入制度は適用されません。

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金(解約)時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の差益 については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金(解約)時および償還時の価額から取得費(申込手数料(税込)を含む)を控除した利益を譲渡益

として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象(配当所得)となります。

なお、販売会社の買取りによるご換金の場合は、税金の取扱いが異なる場合があります。買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

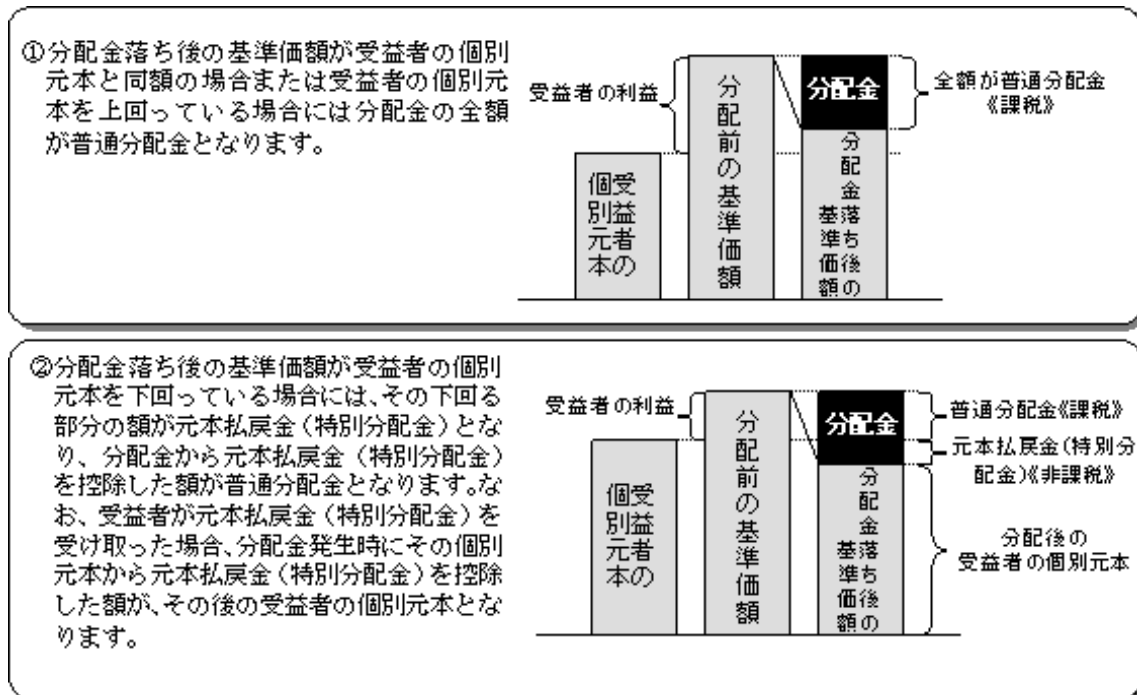
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容が変更になる場合があります。

5 運用状況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

以下は平成25年4月30日現在の運用状況であります。
また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)投資状況

「円コース（毎月分配型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.02
	ケイマン	4,696,215,951	98.92
	小計	4,697,218,706	98.94
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		50,166,842	1.05
合計(純資産総額)		4,747,385,548	100.00

「円コース（年2回決算型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.03
	ケイマン	2,560,444,663	98.56
	小計	2,561,447,418	98.60
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		36,174,755	1.39
合計(純資産総額)		2,597,622,173	100.00

「米ドルコース（毎月分配型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	100,108	0.00
	ケイマン	7,602,147,480	93.86
	小計	7,602,247,588	93.87
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		496,415,336	6.12
合計(純資産総額)		8,098,662,924	100.00

「米ドルコース（年2回決算型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	100,108	0.00
	ケイマン	4,903,269,210	97.38
	小計	4,903,369,318	97.38
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		131,537,320	2.61
合計(純資産総額)		5,034,906,638	100.00

「豪ドルコース（毎月分配型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.00
	ケイマン	26,851,225,726	97.09
	小計	26,852,228,481	97.09
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		803,671,492	2.90
合計(純資産総額)		27,655,899,973	100.00

「豪ドルコース（年2回決算型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.03
	ケイマン	2,722,736,146	96.76
	小計	2,723,738,901	96.80
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		89,880,511	3.19
合計(純資産総額)		2,813,619,412	100.00

「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.00
	ケイマン	213,734,125,016	98.40
	小計	213,735,127,771	98.40
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		3,456,810,632	1.59
合計(純資産総額)		217,191,938,403	100.00

「ブラジルリアルコース（年2回決算型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,002,755	0.01
	ケイマン	8,032,972,520	97.86
	小計	8,033,975,275	97.87
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		174,013,223	2.12
合計(純資産総額)		8,207,988,498	100.00

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	1,001,082	0.00
	ケイマン	26,167,130,801	97.23
	小計	26,168,131,883	97.23
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		744,206,620	2.76
合計(純資産総額)		26,912,338,503	100.00

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	100,108	0.00
	ケイマン	5,565,629,685	97.06
	小計	5,565,729,793	97.06
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		168,410,896	2.93
合計(純資産総額)		5,734,140,689	100.00

「マネーパールファンド（年2回決算型）」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	日本	27,630,927	99.06
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		259,874	0.93
合計(純資産総額)		27,890,801	100.00

<ご参考>

「野村マネー マザーファンド」

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	日本	1,531,150,536	27.24
特殊債券	日本	279,882,103	4.98
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		3,808,182,951	67.77
合計(純資産総額)		5,619,215,590	100.00

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

「円コース（毎月分配型）」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスJPY	416,073	11,212	4,665,010,528	11,287	4,696,215,951	98.92
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0188	1,002,755	1.0188	1,002,755	0.02

「円コース（年2回決算型）」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスJPY	226,849	10,816	2,453,798,918	11,287	2,560,444,663	98.56
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0187	1,002,657	1.0188	1,002,755	0.03

「米ドルコース(毎月分配型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスUSD	558,776	13,612	7,606,583,092	13,605	7,602,147,480	93.86
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0188	100,108	1.0188	100,108	0.00

「米ドルコース(年2回決算型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスUSD	360,402	12,946	4,665,822,705	13,605	4,903,269,210	97.38
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0187	100,098	1.0188	100,108	0.00

「豪ドルコース(毎月分配型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスAUD	1,968,998	13,700	26,976,536,792	13,637	26,851,225,726	97.09
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0188	1,002,755	1.0188	1,002,755	0.00

「豪ドルコース(年2回決算型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスAUD	199,658	12,852	2,566,032,978	13,637	2,722,736,146	96.76
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0187	1,002,657	1.0188	1,002,755	0.03

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスBRL	24,221,909	8,742	211,757,015,045	8,824	213,734,125,016	98.40
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0188	1,002,755	1.0188	1,002,755	0.00

「ブラジルリアルコース(年2回決算型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスBRL	910,355	8,326	7,579,890,276	8,824	8,032,972,520	97.86
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	984,252	1.0187	1,002,657	1.0188	1,002,755	0.01

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-通貨セレクトクラス	2,002,229	13,024	26,078,506,751	13,069	26,167,130,801	97.23
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	982,609	1.0188	1,001,082	1.0188	1,001,082	0.00

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-通貨セレクトクラス	425,865	12,327	5,249,727,286	13,069	5,565,629,685	97.06
2	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	98,261	1.0187	100,098	1.0188	100,108	0.00

「マネーボールファンド（年2回決算型）」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	27,121,052	1.0186	27,625,504	1.0188	27,630,927	99.06

<ご参考>

「野村マネー マザーファンド」

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	国庫債券 利付(2年)第304回	500,000,000	100.00	500,020,000	100.00	500,020,000	0.2	2013/5/15	8.89
2	日本	国債証券	国庫短期証券 第362回	200,000,000	99.97	199,956,400	99.97	199,956,400		2013/7/29	3.55
3	日本	国債証券	国庫債券 利付(10年)第259回	100,000,000	101.21	101,214,000	101.21	101,214,000	1.5	2014/3/20	1.80
4	日本	国債証券	国庫債券 利付(2年)第305回	100,000,000	100.01	100,017,400	100.01	100,017,400	0.2	2013/6/15	1.77
5	日本	国債証券	国庫短期証券 第342回	100,000,000	99.99	99,998,070	99.99	99,998,070		2013/5/7	1.77
6	日本	国債証券	国庫短期証券 第344回	100,000,000	99.99	99,997,270	99.99	99,997,270		2013/5/13	1.77
7	日本	国債証券	国庫短期証券 第345回	100,000,000	99.99	99,995,694	99.99	99,995,694		2013/5/20	1.77
8	日本	国債証券	国庫短期証券 第347回	100,000,000	99.99	99,994,212	99.99	99,994,212		2013/5/27	1.77
9	日本	国債証券	国庫短期証券 第361回	100,000,000	99.97	99,979,100	99.97	99,979,100		2013/7/22	1.77
10	日本	国債証券	国庫短期証券 第359回	100,000,000	99.97	99,979,050	99.97	99,979,050		2013/7/16	1.77
11	日本	特殊債券	しんきん中金債券 利付第227回	50,000,000	100.61	50,309,220	100.61	50,309,220	1.4	2013/10/25	0.89
12	日本	特殊債券	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第316回	50,000,000	100.04	50,022,860	100.04	50,022,860	0.6	2013/5/29	0.89
13	日本	特殊債券	首都高速道路債券 政府保証第190回	30,000,000	101.13	30,339,780	101.13	30,339,780	1.4	2014/3/14	0.53
14	日本	特殊債券	首都高速道路債券 政府保証第188回	30,000,000	100.96	30,289,131	100.96	30,289,131	1.4	2014/1/24	0.53
15	日本	特殊債券	道路債券 政府保証第323回	30,000,000	100.89	30,267,342	100.89	30,267,342	1.5	2013/12/20	0.53
16	日本	特殊債券	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第320回	30,000,000	100.58	30,174,510	100.58	30,174,510	1.6	2013/9/20	0.53
17	日本	国債証券	国庫短期証券 第322回	30,000,000	99.99	29,999,340	99.99	29,999,340		2013/5/10	0.53
18	日本	特殊債券	農林漁業金融公庫債券 政府保証第2回	29,000,000	100.81	29,236,016	100.81	29,236,016	1.5	2013/11/29	0.52
19	日本	特殊債券	公営企業債券 政府保証第832回	17,000,000	100.62	17,106,546	100.62	17,106,546	1.4	2013/10/24	0.30
20	日本	特殊債券	本州四国連絡橋債券 政府保証第23回	12,000,000	101.13	12,136,698	101.13	12,136,698	1.4	2014/3/19	0.21

種類別及び業種別投資比率

「円コース（毎月分配型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		98.94
合計		98.94

「円コース（年2回決算型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		98.60
合計		98.60

「米ドルコース（毎月分配型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		93.87
合計		93.87

「米ドルコース（年2回決算型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		97.38
合計		97.38

「豪ドルコース（毎月分配型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		97.09
合計		97.09

「豪ドルコース（年2回決算型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		96.80
合計		96.80

「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		98.40
合計		98.40

「ブラジルリアルコース（年2回決算型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		97.87
合計		97.87

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		97.23
合計		97.23

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		97.06
合計		97.06

「マネープールファンド（年2回決算型）」

種類	業種	投資比率(%)
投資信託受益証券		99.06
合計		99.06

<ご参考>

「野村マネー マザーファンド」

種類	業種	投資比率(%)
国債証券		27.24
特殊債券		4.98
合計		32.22

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3)運用実績

純資産の推移

「円コース（毎月分配型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

特定期間	計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	3,097	3,110	0.9804	0.9844
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	3,742	3,757	0.9839	0.9879
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	4,669	4,687	1.0526	1.0566
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	3,130	3,142	1.0870	1.0910
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	4,436	4,452	1.1654	1.1694
	2012年4月末日	4,320		1.0549	
	5月末日	3,693		1.0310	
	6月末日	3,438		1.0456	
	7月末日	3,253		1.0870	
	8月末日	3,130		1.0762	
	9月末日	2,958		1.0839	
	10月末日	3,152		1.0897	
	11月末日	3,201		1.0798	
	12月末日	3,652		1.0710	
	2013年1月末日	4,356		1.1433	
	2月末日	4,564		1.1552	
	3月末日	4,599		1.1998	
	4月末日	4,747		1.2266	

特定期間末日における分配付の純資産及び単価を表示しております。

「円コース（年2回決算型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2011年3月22日)	860	861	0.9944	0.9954
第2期 (2011年9月20日)	853	854	1.0167	1.0177
第3期 (2012年3月21日)	1,144	1,145	1.1094	1.1104
第4期 (2012年9月20日)	757	758	1.1708	1.1718
第5期 (2013年3月21日)	1,933	1,934	1.2821	1.2831
	2012年4月末日	1,153		1.1157
	5月末日	800		1.0945
	6月末日	693		1.1146
	7月末日	701		1.1629
	8月末日	750		1.1558
	9月末日	831		1.1672
	10月末日	842		1.1776
	11月末日	960		1.1710
	12月末日	1,157		1.1667
	2013年1月末日	1,963		1.2500
	2月末日	1,938		1.2673
	3月末日	2,137		1.3196
	4月末日	2,597		1.3527

「米ドルコース（毎月分配型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

特定期間	計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	1,304	1,309	0.9874	0.9914
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	1,745	1,753	0.9352	0.9392
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	900	903	1.0859	1.0899
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	509	511	1.0682	1.0722
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	3,409	3,419	1.3403	1.3443
	2012年4月末日	783		1.0622	
	5月末日	714		1.0154	
	6月末日	659		1.0306	
	7月末日	576		1.0581	
	8月末日	514		1.0526	
	9月末日	491		1.0477	
	10月末日	465		1.0755	
	11月末日	568		1.0978	
	12月末日	1,173		1.1292	
	2013年1月末日	1,968		1.2589	
	2月末日	2,646		1.2806	
	3月末日	3,917		1.3620	
	4月末日	8,098		1.4337	

特定期間末日における分配付の純資産及び単価を表示しております。

「米ドルコース（年2回決算型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2011年3月22日)	843	844	1.0058	1.0068
第2期 (2011年9月20日)	1,118	1,118	0.9769	0.9769
第3期 (2012年3月21日)	524	524	1.1629	1.1639
第4期 (2012年9月20日)	211	211	1.1702	1.1712
第5期 (2013年3月21日)	2,409	2,411	1.4952	1.4962
	2012年4月末日	460		1.1423
	5月末日	404		1.0960
	6月末日	398		1.1170
	7月末日	231		1.1515
	8月末日	226		1.1498
	9月末日	197		1.1478
	10月末日	183		1.1824
	11月末日	214		1.2122
	12月末日	409		1.2514
	2013年1月末日	813		1.4015
	2月末日	1,381		1.4274
	3月末日	3,061		1.5173
	4月末日	5,034		1.6148

「豪ドルコース（毎月分配型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

特定期間	計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	45,959	46,326	0.9999	1.0079
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	59,046	59,525	0.9868	0.9948
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	46,811	47,131	1.1691	1.1771
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	27,486	27,680	1.1285	1.1365
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	24,774	24,913	1.4241	1.4321
	2012年4月末日	38,305		1.1241	
	5月末日	32,405		1.0130	
	6月末日	32,161		1.0580	
	7月末日	30,900		1.1216	
	8月末日	27,407		1.1010	
	9月末日	26,539		1.1022	
	10月末日	25,809		1.1276	
	11月末日	25,488		1.1619	
	12月末日	23,564		1.1876	
	2013年1月末日	24,628		1.3485	
	2月末日	23,484		1.3412	
	3月末日	25,202		1.4571	
	4月末日	27,655		1.5235	

特定期間末日における分配付の純資産及び単価を表示しております。

「豪ドルコース（年2回決算型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2011年3月22日)	7,360	7,367	1.0332	1.0342
第2期 (2011年9月20日)	7,060	7,066	1.0660	1.0670
第3期 (2012年3月21日)	3,802	3,805	1.3227	1.3237
第4期 (2012年9月20日)	2,183	2,185	1.3354	1.3364
第5期 (2013年3月21日)	2,292	2,294	1.7513	1.7523
	2012年4月末日	2,943		1.2808
	5月末日	2,451		1.1631
	6月末日	2,545		1.2248
	7月末日	2,497		1.3097
	8月末日	2,167		1.2944
	9月末日	2,093		1.3045
	10月末日	2,056		1.3444
	11月末日	2,042		1.3953
	12月末日	2,058		1.4359
	2013年1月末日	2,144		1.6412
	2月末日	2,067		1.6412
	3月末日	2,418		1.7913
	4月末日	2,813		1.8980

[次へ](#)

「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

特定期間	計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	275,970	279,604	0.9872	1.0002
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	342,550	347,511	0.8976	0.9106
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	255,502	258,942	0.9658	0.9788
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	146,020	148,345	0.8165	0.8295
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	180,226	182,543	1.0115	1.0245
	2012年4月末日	211,983		0.9052	
	5月末日	180,214		0.8130	
	6月末日	166,485		0.7870	
	7月末日	162,648		0.8228	
	8月末日	147,405		0.8019	
	9月末日	139,669		0.7967	
	10月末日	133,356		0.8128	
	11月末日	126,082		0.7999	
	12月末日	128,813		0.8367	
	2013年1月末日	149,943		0.9631	
	2月末日	160,048		0.9740	
	3月末日	187,150		1.0157	
	4月末日	217,191		1.0803	

特定期間末日における分配付の純資産及び単価を表示しております。

「ブラジルリアルコース（年2回決算型）」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2011年3月22日)	13,151	13,164	1.0381	1.0391
第2期 (2011年9月20日)	11,300	11,311	1.0202	1.0212
第3期 (2012年3月21日)	6,166	6,171	1.1960	1.1970
第4期 (2012年9月20日)	3,838	3,841	1.1103	1.1113
第5期 (2013年3月21日)	6,355	6,359	1.5009	1.5019
	2012年4月末日	4,905		1.1372
	5月末日	4,257		1.0376
	6月末日	4,116		1.0216
	7月末日	4,226		1.0849
	8月末日	3,822		1.0738
	9月末日	3,745		1.0837
	10月末日	3,698		1.1236
	11月末日	3,682		1.1241
	12月末日	3,996		1.1944
	2013年1月末日	4,767		1.3936
	2月末日	5,434		1.4270
	3月末日	6,792		1.5068
	4月末日	8,207		1.6230

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

特定期間	計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	2011年10月27日～2012年3月21日	2,943	2,970	1.1034	1.1134
第2特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	4,296	4,339	1.0084	1.0184
第3特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	15,064	15,183	1.2643	1.2743
	2012年4月末日	3,570		1.0586	
	5月末日	3,554		0.9510	
	6月末日	3,721		0.9514	
	7月末日	4,012		0.9895	
	8月末日	3,981		0.9768	
	9月末日	4,442		0.9887	
	10月末日	4,733		1.0033	
	11月末日	4,958		1.0181	
	12月末日	5,448		1.0624	
	2013年1月末日	7,980		1.2009	
	2月末日	11,165		1.2097	
	3月末日	18,142		1.2818	
	4月末日	26,912		1.3646	

特定期間末日における分配付の純資産及び単価を表示しております。

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2012年3月21日)	256	256	1.1445	1.1455
第2期 (2012年9月20日)	660	661	1.1119	1.1129
第3期 (2013年3月21日)	3,163	3,165	1.4596	1.4606
2012年4月末日	448		1.1095	
5月末日	415		1.0072	
6月末日	438		1.0168	
7月末日	480		1.0694	
8月末日	613		1.0661	
9月末日	811		1.0891	
10月末日	868		1.1153	
11月末日	901		1.1447	
12月末日	972		1.2055	
2013年1月末日	1,328		1.3669	
2月末日	2,209		1.3887	
3月末日	3,701		1.4795	
4月末日	5,734		1.5917	

「マネーパールファンド(年2回決算型)」

平成25年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

計算期間	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1期 (2011年3月22日)	54	54	1.0005	1.0005
第2期 (2011年9月20日)	36	36	1.0010	1.0010
第3期 (2012年3月21日)	137	137	1.0015	1.0015
第4期 (2012年9月20日)	38	38	1.0020	1.0020
第5期 (2013年3月21日)	23	23	1.0013	1.0023
2012年4月末日	52		1.0016	
5月末日	36		1.0017	
6月末日	73		1.0017	
7月末日	33		1.0018	
8月末日	38		1.0019	
9月末日	38		1.0020	
10月末日	38		1.0020	
11月末日	38		1.0021	
12月末日	42		1.0022	
2013年1月末日	34		1.0023	
2月末日	28		1.0022	
3月末日	23		1.0013	
4月末日	27		1.0014	

分配の推移

「円コース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.0160 円
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	0.0240 円
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	0.0240 円
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.0240 円
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	0.0240 円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

「円コース(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0010 円
第2期	0.0010 円
第3期	0.0010 円
第4期	0.0010 円
第5期	0.0010 円

「米ドルコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.0160 円
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	0.0240 円
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	0.0240 円
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.0240 円
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	0.0240 円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

「米ドルコース(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0010 円
第2期	0.0000 円
第3期	0.0010 円
第4期	0.0010 円
第5期	0.0010 円

「豪ドルコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.0320 円
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	0.0480 円
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	0.0480 円
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.0480 円
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	0.0480 円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

「豪ドルコース(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0010 円
第2期	0.0010 円
第3期	0.0010 円
第4期	0.0010 円
第5期	0.0010 円

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.0520 円
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	0.0780 円
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	0.0780 円
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.0780 円
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	0.0780 円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

「ブラジルリアルコース(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0010 円
第2期	0.0010 円
第3期	0.0010 円
第4期	0.0010 円
第5期	0.0010 円

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2011年10月27日～2012年3月21日	0.0400 円
第2特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.0600 円
第3特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	0.0600 円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0010 円
第2期	0.0010 円
第3期	0.0010 円

「マネーボールファンド(年2回決算型)」

期	1口当たりの分配金
第1期	0.0000 円
第2期	0.0000 円
第3期	0.0000 円
第4期	0.0000 円
第5期	0.0010 円

収益率の推移

「円コース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	収益率
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.4 %
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	2.8 %
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	9.4 %
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	5.5 %
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	9.4 %

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(期間中の分配金を加算した額)から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「円コース（年2回決算型）」

期	収益率
第1期	0.5 %
第2期	2.3 %
第3期	9.2 %
第4期	5.6 %
第5期	9.6 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「米ドルコース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	収益率
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	0.3 %
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	2.9 %
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	18.7 %
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.6 %
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	27.7 %

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(期間中の分配金を加算した額)から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「米ドルコース（年2回決算型）」

期	収益率
第1期	0.7 %
第2期	2.9 %
第3期	19.1 %
第4期	0.7 %
第5期	27.9 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「豪ドルコース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	収益率
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	3.2 %
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	3.5 %
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	23.3 %
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	0.6 %
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	30.4 %

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(期間中の分配金を加算した額)から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「豪ドルコース（年2回決算型）」

期	収益率
第1期	3.4 %
第2期	3.3 %
第3期	24.2 %
第4期	1.0 %
第5期	31.2 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	収益率
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	3.9 %
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	1.2 %
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	16.3 %
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	7.4 %
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	33.4 %

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(期間中の分配金を加算した額)から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「ブラジルリアルコース（年2回決算型）」

期	収益率
第1期	3.9 %
第2期	1.6 %
第3期	17.3 %
第4期	7.1 %
第5期	35.3 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	収益率
第1特定期間	2011年10月27日～2012年3月21日	14.3 %
第2特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	3.2 %
第3特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	31.3 %

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額(期間中の分配金を加算した額)から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

期	収益率
第1期	14.6 %
第2期	2.8 %
第3期	31.4 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

「マネーボールファンド（年2回決算型）」

期	収益率
第1期	0.1 %
第2期	0.0 %
第3期	0.0 %
第4期	0.0 %
第5期	0.0 %

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額(分配付の額)から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額(分配落の額、以下「前期末基準価額」といいます。)を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

(4)設定及び解約の実績

「円コース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	3,315,197,561	155,949,025	3,159,248,536
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	2,591,147,673	1,947,204,776	3,803,191,433
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	3,758,346,213	3,125,193,483	4,436,344,163
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	1,266,596,886	2,822,813,150	2,880,127,899
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	2,417,290,566	1,490,229,770	3,807,188,695

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「円コース（年2回決算型）」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	906,266,211	41,130,654	865,135,557
第2期	524,116,440	549,975,534	839,276,463
第3期	1,167,242,493	975,062,971	1,031,455,985
第4期	370,483,461	754,643,106	647,296,340
第5期	1,207,265,433	346,465,404	1,508,096,369

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「米ドルコース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	1,383,210,514	62,371,113	1,320,839,401
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	1,362,670,397	816,894,911	1,866,614,887
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	184,934,742	1,222,408,157	829,141,472
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	93,532,257	445,493,101	477,180,628
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	2,413,311,597	346,454,958	2,544,037,267

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「米ドルコース（年2回決算型）」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	936,125,814	97,816,449	838,309,365
第2期	570,917,635	263,842,176	1,145,384,824
第3期	14,997,682	709,391,334	450,991,172
第4期	21,890,789	291,924,042	180,957,919
第5期	1,480,683,497	50,021,088	1,611,620,328

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「豪ドルコース（毎月分配型）」

特定期間	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	46,749,477,132	785,898,922	45,963,578,210
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	22,694,434,980	8,819,443,665	59,838,569,525
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	16,918,118,940	36,714,895,096	40,041,793,369
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	5,340,916,002	21,026,807,396	24,355,901,975
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	3,449,101,472	10,407,649,820	17,397,353,627

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「豪ドルコース(年2回決算型)」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	7,603,111,802	479,294,326	7,123,817,476
第2期	2,301,517,536	2,802,073,572	6,623,261,440
第3期	1,533,792,620	5,282,313,849	2,874,740,211
第4期	456,721,098	1,696,053,891	1,635,407,418
第5期	423,793,776	749,955,013	1,309,246,181

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2010年10月28日～2011年3月22日	281,846,737,096	2,297,238,662	279,549,498,434
第2特定期間	2011年3月23日～2011年9月20日	147,278,528,733	45,204,602,493	381,623,424,674
第3特定期間	2011年9月21日～2012年3月21日	23,804,977,481	140,866,690,952	264,561,711,203
第4特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	7,516,903,050	93,237,687,027	178,840,927,226
第5特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	54,933,964,817	55,594,069,487	178,180,822,556

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「ブラジルリアルコース(年2回決算型)」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	13,308,684,143	639,267,184	12,669,416,959
第2期	4,678,381,710	6,270,795,921	11,077,002,748
第3期	691,360,483	6,612,254,131	5,156,109,100
第4期	413,975,912	2,113,360,514	3,456,724,498
第5期	2,371,544,967	1,593,881,470	4,234,387,995

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

特定期間	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2011年10月27日～2012年3月21日	2,940,910,520	272,875,760	2,668,034,760
第2特定期間	2012年3月22日～2012年9月20日	2,569,223,865	976,454,958	4,260,803,667
第3特定期間	2012年9月21日～2013年3月21日	9,772,698,039	2,117,932,871	11,915,568,835

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	260,761,245	36,926,024	223,835,221
第2期	498,340,534	127,790,910	594,384,845
第3期	2,189,863,538	616,877,288	2,167,371,095

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

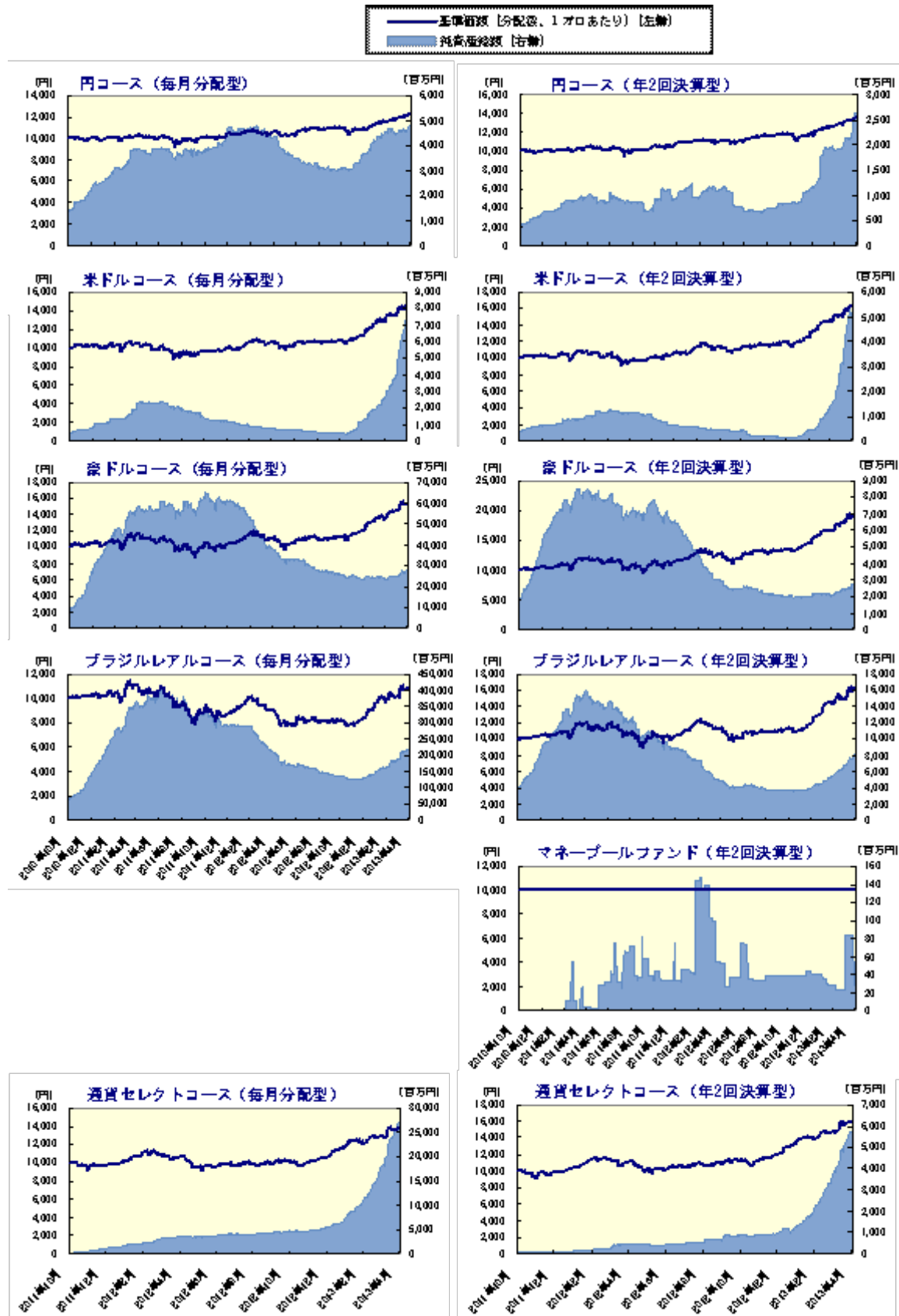
「マネーブルファンド(年2回決算型)」

期	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1期	54,719,737		54,719,737
第2期	152,121,444	170,180,951	36,660,230
第3期	229,898,001	129,540,720	137,017,511
第4期	53,989,498	152,482,641	38,524,368
第5期	4,089,229	19,053,951	23,559,646

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

< 参考情報 > 運用実績（2013年4月30日現在）

[基準価額・純資産の推移]（日次：設定来）



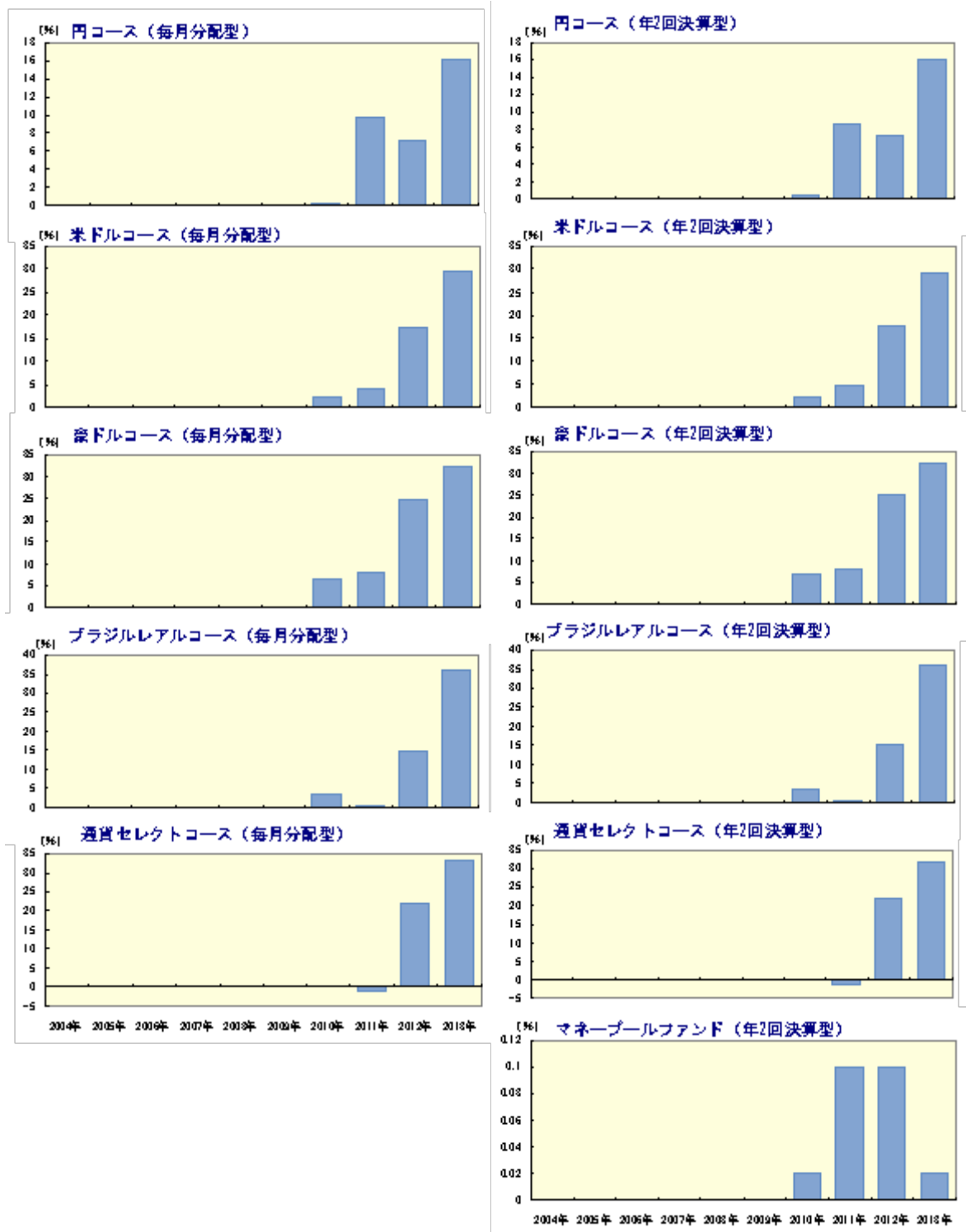
[分配の推移]（1万口あたり、課税前）

<毎月分配型>						
	円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジルレアル コース	通貨セレクト コース	
2013年4月	40 円	150 円	200 円	130 円	150 円	
2013年3月	40 円	40 円	80 円	130 円	100 円	
2013年2月	40 円	40 円	80 円	130 円	100 円	
2013年1月	40 円	40 円	80 円	130 円	100 円	
2012年12月	40 円	40 円	80 円	130 円	100 円	
直近1年間累計	480 円	590 円	1,080 円	1,560 円	1,250 円	
設定来累計	1,160 円	1,270 円	2,440 円	3,770 円	1,750 円	
<年2回決算型>						
	円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジルレアル コース	通貨セレクト コース	マネーパ ファンド
2013年3月	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円
2012年9月	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	0 円
2012年3月	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	0 円
2011年9月	10 円	0 円	10 円	10 円	--	0 円
2011年3月	10 円	10 円	10 円	10 円	--	0 円
設定来累計	50 円	40 円	50 円	50 円	30 円	10 円

[主要な資産の状況]

実質的な銘柄別投資比率(上位)							
<毎月分配型>							
順位	銘柄	業種	投資比率(%)				
			円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジル レアルコース	通貨セレクト コース
1	NATIONAL GRID PLC	総合公益事業	8.5	8.1	8.4	8.5	8.4
2	ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	石油・ガス・消耗燃料	7.4	7.0	7.2	7.3	7.3
3	NISOURCE INC	総合公益事業	5.4	5.2	5.3	5.4	5.3
4	PLAINS ALL AMER PIPELINE LP	石油・ガス・消耗燃料	5.0	4.7	4.9	4.9	4.9
5	UNITED UTILITIES GROUP PLC	水道	4.9	4.7	4.8	4.9	4.8
6	SEVERN TRENT PLC	水道	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5
7	PEPCO HOLDINGS INC	電力	4.5	4.3	4.4	4.5	4.4
8	TRANSCANADA CORP	石油・ガス・消耗燃料	4.0	3.8	3.9	4.0	3.9
9	SPECTRA ENERGY CORP	石油・ガス・消耗燃料	4.0	3.8	3.9	4.0	3.9
10	SEMPRA ENERGY	総合公益事業	3.5	3.3	3.4	3.5	3.4
<年2回決算型>							
順位	銘柄	業種	投資比率(%)				
			円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジル レアルコース	通貨セレクト コース
1	NATIONAL GRID PLC	総合公益事業	8.5	8.4	8.4	8.4	8.4
2	ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	石油・ガス・消耗燃料	7.4	7.3	7.2	7.3	7.2
3	NISOURCE INC	総合公益事業	5.4	5.3	5.3	5.4	5.3
4	PLAINS ALL AMER PIPELINE LP	石油・ガス・消耗燃料	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9
5	UNITED UTILITIES GROUP PLC	水道	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8
6	SEVERN TRENT PLC	水道	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
7	PEPCO HOLDINGS INC	電力	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4
8	TRANSCANADA CORP	石油・ガス・消耗燃料	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9
9	SPECTRA ENERGY CORP	石油・ガス・消耗燃料	4.0	3.9	3.9	4.0	3.9
10	SEMPRA ENERGY	総合公益事業	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
マネーパブルファンド(年2回決算型)							
順位	銘柄	種類	投資比率 (%)				
1	国庫債券 利付(2年)第304回	国債証券	8.8				
2	国庫短期証券 第352回	国債証券	3.5				
3	国庫債券 利付(10年)第259回	国債証券	1.8				
4	国庫債券 利付(2年)第305回	国債証券	1.8				
5	国庫短期証券 第342回	国債証券	1.8				
6	国庫短期証券 第344回	国債証券	1.8				
7	国庫短期証券 第345回	国債証券	1.8				
8	国庫短期証券 第347回	国債証券	1.8				
9	国庫短期証券 第351回	国債証券	1.8				
10	国庫短期証券 第359回	国債証券	1.8				

[年間収益率の推移]（暦年ベース）



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・各コース(通貨セレクトコースを除く)およびマネープールファンドの2010年は設定日(2010年10月28日)から年末までの収益率。
- ・通貨セレクトコースの2011年は設定日(2011年10月27日)から年末までの収益率。
- ・2013年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
 ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。
 グラフの目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第2【管理及び運営】

2 換金(解約)手続等

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

受益者は、受益権を、「一般コース」の場合は1万口単位、1口単位または1円単位、「自動けいぞく投資コース」の場合は1円単位または1口単位で換金できません。

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

一部解約の実行の請求の受付については、午後3時までに、解約請求のお申込みが行われかつ、その解約請求のお申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日のお申込み分とします。

ただし、各コースは、販売会社の営業日であっても、申込不可日には原則として換金の申込みができません。(申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。)

換金価額は、各コースについては、換金のお申込み日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額一を差し引いた価額、「マネープールファンド(年2回決算型)」については、換金のお申込み日の翌営業日の基準価額となります。

各コースについては、信託財産留保額は、基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を1口当たりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます。

換金時の税金につきましては「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金」をご覧ください。

「信託財産留保額」とは、償還時まで投資を続ける投資家との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、クローズド期間の有無に関係なく、信託期間満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

(以下略)

<訂正後>

受益者は、受益権を、「一般コース」の場合は1万口単位、1口単位または1円単位、「自動けいぞく投資コース」の場合は1円単位または1口単位で換金できません。

換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとします。

一部解約の実行の請求の受付については、午後3時までに、解約請求のお申込みが行われかつ、その解約請求のお申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み分とします。

ただし、各コースは、販売会社の営業日であっても、申込不可日には原則として換金の申込みができません。（申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。）

換金価額は、各コースについては、換金のお申込み日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額、「マネープールファンド(年2回決算型)」については、換金のお申込み日の翌営業日の基準価額となります。

各コースについては、信託財産留保額は、基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を1口あたりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

（以下略）

3 資産管理等の概要

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)資産の評価

<基準価額の計算方法>

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
外国投資信託	原則、基準価額計算日の前日(前日が外国ファンドの営業日でない場合はとりうる直近)の純資産価格で評価します。

公社債等	原則として、基準価額計算日 ¹ における以下のいずれかの価額で評価します。 ² 日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値(平均値) 第一種金融商品取引業者、銀行等の提示する価額 価格情報会社の提供する価額
------	---

1 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

2 残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

(以下略)

<訂正後>

(1)資産の評価

<基準価額の計算方法>

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
外国投資信託	原則、基準価額計算日の前日(前日が外国ファンドの営業日でない場合はとりうる直近)の純資産価格で評価します。
公社債等	原則として、基準価額計算日 ¹ における以下のいずれかの価額で評価します。 ² 日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値) 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(売気配相場を除く) 価格情報会社の提供する価額

1 外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

2 残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

（以下略）

<訂正前>

(3)信託期間

平成27年9月24日までとします。

各コース(通貨セレクトコースを除く)およびマネープールファンド：平成22年10月28日設定

通貨セレクトコース：平成23年10月27日設定

なお、委託者は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

<訂正後>

(3)信託期間

平成32年9月23日までとします。

各コース(通貨セレクトコースを除く)およびマネープールファンド：平成22年10月28日設定

通貨セレクトコース：平成23年10月27日設定

なお、委託者は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

<訂正前>

(4)計算期間

<毎月分配型>

原則として、毎月21日から翌月20日までとします。

<年2回決算型>

原則として、毎年3月21日から9月20日までおよび9月21日から翌年3月20日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

ただし、最終計算期間の終了日は、平成27年9月24日とします。

<訂正後>

(4)計算期間

<毎月分配型>

原則として、毎月21日から翌月20日までとします。

<年2回決算型>

原則として、毎年3月21日から9月20日までおよび9月21日から翌年3月20日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

ただし、最終計算期間の終了日は、平成32年9月23日とします。

第3【ファンドの経理状況】

1 財務諸表

原届出書の 第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。

- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1財務諸表

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

(1)貸借対照表

期別	前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	97,994,445	221,244,524
投資信託受益証券	3,083,519,900	4,322,951,640
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	14,311,216	116,123,567
未収利息	249	528
流動資産合計	3,196,827,975	4,661,322,916
資産合計	3,196,827,975	4,661,322,916
負債の部		
流動負債		
未払金	22,405,847	
未払収益分配金	11,520,511	15,228,754
未払解約金	29,973,373	206,095,168
未払受託者報酬	69,963	93,306
未払委託者報酬	2,252,703	3,074,609
その他未払費用	8,385	11,441
流動負債合計	66,230,782	224,503,278
負債合計	66,230,782	224,503,278
純資産の部		
元本等		
元本	2,880,127,899	3,807,188,695
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	250,469,294	629,630,943
(分配準備積立金)	183,360,861	357,234,249
元本等合計	3,130,597,193	4,436,819,638
純資産合計	3,130,597,193	4,436,819,638
負債純資産合計	3,196,827,975	4,661,322,916

(2)損益及び剰余金計算書

科目	前期	当期
	自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
金額(円)	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	152,085,150	133,027,480
受取利息	60,610	74,394
有価証券売買等損益	31,000,499	252,585,599
営業収益合計	183,146,259	385,687,473
営業費用		
受託者報酬	474,104	485,259
委託者報酬	15,701,848	15,415,336
その他費用	58,407	57,410
営業費用合計	16,234,359	15,958,005
営業利益	166,911,900	369,729,468
経常利益	166,911,900	369,729,468
当期純利益	166,911,900	369,729,468
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	8,274,818	11,860,383
期首剰余金又は期首欠損金()	233,541,754	250,469,294
剰余金増加額又は欠損金減少額	77,494,052	257,868,615
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額	77,494,052	257,868,615
剰余金減少額又は欠損金増加額	137,609,048	155,520,549
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	137,609,048	155,520,549
分配金	81,594,546	81,055,502
期末剰余金又は期末欠損金()	250,469,294	629,630,943

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準 及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売 買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当該財務諸表の特定期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 特定期間の末日における受益権の総数 2,880,127,899 口	1 特定期間の末日における受益権の総数 3,807,188,695 口
2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.0870 円 (10,000口当たり純資産額 10,870 円)	2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.1654 円 (10,000口当たり純資産額 11,654 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 平成24年3月22日から平成24年4月20日まで 当該期末における分配対象金額445,894,600円(10,000口当たり1,064円)のうち、16,761,238円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 平成24年9月21日から平成24年10月22日まで 当該期末における分配対象金額390,257,238円(10,000口当たり1,408円)のうち、11,082,569円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>27,522,853円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>210,823,197円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>207,548,550円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>445,894,600円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>4,190,309,717口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,064円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>16,761,238円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	27,522,853円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	210,823,197円	分配準備積立金額	D	207,548,550円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	445,894,600円	当ファンドの期末残存口数	F	4,190,309,717口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,064円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	16,761,238円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>18,444,979円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>213,501,189円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>158,311,070円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>390,257,238円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,770,642,368口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,408円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>11,082,569円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	18,444,979円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	213,501,189円	分配準備積立金額	D	158,311,070円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	390,257,238円	当ファンドの期末残存口数	F	2,770,642,368口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,408円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	11,082,569円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	27,522,853円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	210,823,197円																																																											
分配準備積立金額	D	207,548,550円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	445,894,600円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,190,309,717口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,064円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	16,761,238円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	18,444,979円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	213,501,189円																																																											
分配準備積立金額	D	158,311,070円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	390,257,238円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	2,770,642,368口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,408円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	11,082,569円																																																											
平成24年4月21日から平成24年5月21日まで 当該期末における分配対象金額413,492,399円(10,000口当たり1,092円)のうち、15,133,799円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。	平成24年10月23日から平成24年11月20日まで 当該期末における分配対象金額415,827,932円(10,000口当たり1,437円)のうち、11,570,500円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。																																																												

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	24,689,746円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	195,451,943円
分配準備積立金額	D	193,350,710円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	413,492,399円
当ファンドの期末残存口数	F	3,783,449,876口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,092円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	15,133,799円

平成24年5月22日から平成24年6月20日まで
当該期末における分配対象金額392,392,453円(10,000口当たり1,128円)のうち、13,908,916円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	24,980,119円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	191,670,556円
分配準備積立金額	D	175,741,778円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	392,392,453円
当ファンドの期末残存口数	F	3,477,229,075口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,128円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	13,908,916円

平成24年6月21日から平成24年7月20日まで
当該期末における分配対象金額384,165,931円(10,000口当たり1,256円)のうち、12,232,396円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	19,311,887円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	239,469,436円
分配準備積立金額	D	157,046,609円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	415,827,932円
当ファンドの期末残存口数	F	2,892,625,035口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,437円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	11,570,500円

平成24年11月21日から平成24年12月20日まで
当該期末における分配対象金額470,948,539円(10,000口当たり1,460円)のうち、12,895,994円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	18,790,912円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	295,073,667円
分配準備積立金額	D	157,083,960円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	470,948,539円
当ファンドの期末残存口数	F	3,223,998,725口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,460円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	12,895,994円

平成24年12月21日から平成25年1月21日まで
当該期末における分配対象金額621,132,057円(10,000口当たり1,687円)のうち、14,724,593円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	22,220,507円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	27,846,027円
収益調整金額	C	172,695,393円
分配準備積立金額	D	161,404,004円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	384,165,931円
当ファンドの期末残存口数	F	3,058,099,139口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,256円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	12,232,396円

平成24年7月21日から平成24年8月20日まで
当該期末における分配対象金額404,659,890円(10,000口当たり1,344円)のうち、12,037,686円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	20,166,385円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	16,871,549円
収益調整金額	C	187,455,573円
分配準備積立金額	D	180,166,383円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	404,659,890円
当ファンドの期末残存口数	F	3,009,421,682口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,344円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	12,037,686円

平成24年8月21日から平成24年9月20日まで
当該期末における分配対象金額396,125,856円(10,000口当たり1,375円)のうち、11,520,511円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	21,295,468円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	75,475,358円
収益調整金額	C	366,953,796円
分配準備積立金額	D	157,407,435円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	621,132,057円
当ファンドの期末残存口数	F	3,681,148,423口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,687円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	14,724,593円

平成25年1月22日から平成25年2月20日まで
当該期末における分配対象金額799,443,111円(10,000口当たり2,056円)のうち、15,553,092円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	23,367,500円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	133,928,430円
収益調整金額	C	418,162,958円
分配準備積立金額	D	223,984,223円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	799,443,111円
当ファンドの期末残存口数	F	3,888,273,201口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,056円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	15,553,092円

平成25年2月21日から平成25年3月21日まで
当該期末における分配対象金額805,731,731円(10,000口当たり2,116円)のうち、15,228,754円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	18,566,792円	費用控除後の配当等収益額	A	22,160,742円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B		費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	14,761,805円
収益調整金額	C	201,244,484円	収益調整金額	C	433,268,728円
分配準備積立金額	D	176,314,580円	分配準備積立金額	D	335,540,456円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	396,125,856円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	805,731,731円
当ファンドの期末残存口数	F	2,880,127,899口	当ファンドの期末残存口数	F	3,807,188,695口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,375円	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,116円
10,000口当たり分配金額	H	40円	10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	11,520,511円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	15,228,754円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1 金融商品に対する取組方針 同左
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	3 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 4,436,344,163 円	期首元本額 2,880,127,899 円
期中追加設定元本額 1,266,596,886 円	期中追加設定元本額 2,417,290,566 円
期中一部解約元本額 2,822,813,150 円	期中一部解約元本額 1,490,229,770 円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	23,095,869	16,854,030
親投資信託受益証券	99	98
合計	23,095,770	16,854,128

3 デリバティブ取引関係
前期(平成24年9月20日現在)
該当事項はございません。
当期(平成25年3月21日現在)
該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2)株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
投資信託受益 証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グ ローバル・インフラ・ストック・ファ ンド - クラスJPY		4,322,951,640	
投資信託受益 証券計	銘柄数：1		4,322,951,640	
	組入時価比率：97.4%		100.0%	
親投資信託受 益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受 益証券計	銘柄数：1		1,002,657	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			4,323,954,297	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対す
る比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	12,958,741	72,431,388
投資信託受益証券	749,268,500	1,901,815,608
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	7,511,392	8,605,662
未収利息	32	172
流動資産合計	770,740,830	1,983,855,487
資産合計	770,740,830	1,983,855,487
負債の部		
流動負債		
未払金	909,000	16,413,008
未払収益分配金	647,296	1,508,096
未払解約金	7,518,512	26,873,159
未払受託者報酬	111,325	169,263
未払委託者報酬	3,693,848	5,397,347
その他未払費用	13,693	20,058
流動負債合計	12,893,674	50,380,931
負債合計	12,893,674	50,380,931
純資産の部		
元本等		
元本	647,296,340	1,508,096,369
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	110,550,816	425,378,187
(分配準備積立金)	51,398,148	165,363,408
元本等合計	757,847,156	1,933,474,556
純資産合計	757,847,156	1,933,474,556
負債純資産合計	770,740,830	1,983,855,487

(2)損益及び剰余金計算書

期別	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	35,755,650	46,199,160
受取利息	16,344	32,980
有価証券売買等損益	1,526,938	103,924,679
営業収益合計	34,245,056	150,156,819
営業費用		
受託者報酬	111,325	169,263
委託者報酬	3,693,848	5,397,347
その他費用	13,693	20,058
営業費用合計	3,818,866	5,586,668
営業利益	30,426,190	144,570,151
経常利益	30,426,190	144,570,151
当期純利益	30,426,190	144,570,151
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	664,777	16,532,707
期首剰余金又は期首欠損金()	112,816,927	110,550,816
剰余金増加額又は欠損金減少額	49,024,593	252,119,452
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	49,024,593	252,119,452
剰余金減少額又は欠損金増加額	81,734,375	63,821,429
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	81,734,375	63,821,429
分配金	647,296	1,508,096
期末剰余金又は期末欠損金()	110,550,816	425,378,187

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	約定期基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 647,296,340 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,508,096,369 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1708 円 (10,000口当たり純資産額 11,708 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2821 円 (10,000口当たり純資産額 12,821 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額124,613,920円(10,000口当たり1,925円)のうち、647,296円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額439,568,932円(10,000口当たり2,914円)のうち、1,508,096円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">22,461,154円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">22,461,154円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">8,629,813円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">72,568,476円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">20,954,477円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">124,613,920円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">647,296,340口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">1,925円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td style="text-align: center;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">647,296円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	22,461,154円	費用控除後の配当等収益額	A	22,461,154円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	8,629,813円	収益調整金額	C	72,568,476円	分配準備積立金額	D	20,954,477円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	124,613,920円	当ファンドの期末残存口数	F	647,296,340口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,925円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	647,296円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">39,523,816円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">39,523,816円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">88,513,628円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">272,697,428円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">38,834,060円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">439,568,932円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">1,508,096,369口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">2,914円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td style="text-align: center;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">1,508,096円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	39,523,816円	費用控除後の配当等収益額	A	39,523,816円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	88,513,628円	収益調整金額	C	272,697,428円	分配準備積立金額	D	38,834,060円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	439,568,932円	当ファンドの期末残存口数	F	1,508,096,369口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,914円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,508,096円
項目	A	22,461,154円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	22,461,154円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	8,629,813円																																																											
収益調整金額	C	72,568,476円																																																											
分配準備積立金額	D	20,954,477円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	124,613,920円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	647,296,340口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,925円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	647,296円																																																											
項目	A	39,523,816円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	39,523,816円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	88,513,628円																																																											
収益調整金額	C	272,697,428円																																																											
分配準備積立金額	D	38,834,060円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	439,568,932円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,508,096,369口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,914円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,508,096円																																																											

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

<p>2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載 しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額 は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時 価としております。</p>	<p>2 時価の算定方法 同左</p>
--	-------------------------

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、同左 一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 1,031,455,985 円	期首元本額 647,296,340 円
期中追加設定元本額 370,483,461 円	期中追加設定元本額 1,207,265,433 円
期中一部解約元本額 754,643,106 円	期中一部解約元本額 346,465,404 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	10,904,562	97,142,018
親投資信託受益証券	591	492
合計	10,905,153	97,142,510

3 デリバティブ取引関係

第4期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第5期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考

投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グローバル・インフラ・ストック・ファンド - クラスJPY		1,901,815,608	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		1,901,815,608	
	組入時価比率：98.4%		99.9%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		1,002,657	
	組入時価比率：0.1%		0.1%	
合計			1,902,818,265	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

(1)貸借対照表

科目	期別 前期 平成24年9月20日現在 金額(円)	当期 平成25年3月21日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	10,578,886	295,354,990
投資信託受益証券	504,544,764	3,351,256,128
親投資信託受益証券	100,049	100,098
未収利息	26	704
流動資産合計	515,223,725	3,646,711,920
資産合計	515,223,725	3,646,711,920
負債の部		
流動負債		
未払金	3,209,785	185,612,368
未払収益分配金	1,908,722	10,176,149
未払解約金		39,216,758
未払受託者報酬	11,431	59,547
未払委託者報酬	368,136	1,965,954
その他未払費用	1,360	7,312
流動負債合計	5,499,434	237,038,088
負債合計	5,499,434	237,038,088
純資産の部		
元本等		
元本	477,180,628	2,544,037,267
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	32,543,663	865,636,565
(分配準備積立金)	34,922,006	353,089,123
元本等合計	509,724,291	3,409,673,832
純資産合計	509,724,291	3,409,673,832
負債純資産合計	515,223,725	3,646,711,920

(2)損益及び剰余金計算書

科目	期別	前期	当期
		自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
		金額(円)	金額(円)
営業収益			
受取配当金		27,910,260	46,398,080
受取利息		8,480	58,412
有価証券売買等損益		33,420,005	359,463,218
営業収益合計		5,501,265	405,919,710
営業費用			
受託者報酬		86,425	169,809
委託者報酬		2,864,445	5,459,183
その他費用		10,604	20,284
営業費用合計		2,961,474	5,649,276
営業利益		8,462,739	400,270,434
経常利益		8,462,739	400,270,434
当期純利益		8,462,739	400,270,434
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額		1,706,568	7,663,883
期首剰余金又は期首欠損金()		71,209,018	32,543,663
剰余金増加額又は欠損金減少額		4,215,963	540,048,817
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		4,215,963	540,048,817
剰余金減少額又は欠損金増加額		21,259,001	69,248,483
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		21,259,001	69,248,483
分配金		14,866,146	30,313,983
期末剰余金又は期末欠損金()		32,543,663	865,636,565

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当該財務諸表の特定期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 特定期間の末日における受益権の総数 477,180,628 口	1 特定期間の末日における受益権の総数 2,544,037,267 口
2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0682 円 (10,000口当たり純資産額 10,682 円)	2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.3403 円 (10,000口当たり純資産額 13,403 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 平成24年3月22日から平成24年4月20日まで 当該期末における分配対象金額82,597,495円(10,000口当たり1,098円)のうち、3,008,038円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 平成24年9月21日から平成24年10月22日まで 当該期末における分配対象金額56,587,321円(10,000口当たり1,293円)のうち、1,749,527円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,838,722円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>29,928,506円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>47,830,267円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>82,597,495円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>752,009,643口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,098円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>3,008,038円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,838,722円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	29,928,506円	分配準備積立金額	D	47,830,267円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	82,597,495円	当ファンドの期末残存口数	F	752,009,643口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,098円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	3,008,038円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,058,026円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>21,475,363円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>32,053,932円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>56,587,321円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>437,381,789口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,293円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>1,749,527円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,058,026円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	21,475,363円	分配準備積立金額	D	32,053,932円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	56,587,321円	当ファンドの期末残存口数	F	437,381,789口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,293円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,749,527円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,838,722円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	29,928,506円																																																											
分配準備積立金額	D	47,830,267円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	82,597,495円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	752,009,643口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,098円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	3,008,038円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,058,026円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	21,475,363円																																																											
分配準備積立金額	D	32,053,932円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	56,587,321円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	437,381,789口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,293円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,749,527円																																																											
平成24年4月21日から平成24年5月21日まで 当該期末における分配対象金額80,949,180円(10,000口当たり1,125円)のうち、2,876,973円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。	平成24年10月23日から平成24年11月20日まで 当該期末における分配対象金額56,570,819円(10,000口当たり1,321円)のうち、1,712,300円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。																																																												

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,705,065円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	29,306,411円
分配準備積立金額	D	46,937,704円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	80,949,180円
当ファンドの期末残存口数	F	719,243,461口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,125円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	2,876,973円

平成24年5月22日から平成24年6月20日まで
当該期末における分配対象金額76,917,133円(10,000口当たり1,159円)のうち、2,653,994円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,744,395円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	27,573,816円
分配準備積立金額	D	44,598,922円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	76,917,133円
当ファンドの期末残存口数	F	663,498,676口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,159円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	2,653,994円

平成24年6月21日から平成24年7月20日まで
当該期末における分配対象金額68,376,626円(10,000口当たり1,195円)のうち、2,287,231円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,831,889円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	21,414,156円
分配準備積立金額	D	32,324,774円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	56,570,819円
当ファンドの期末残存口数	F	428,075,147口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,321円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,712,300円

平成24年11月21日から平成24年12月20日まで
当該期末における分配対象金額144,453,300円(10,000口当たり1,564円)のうち、3,693,390円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,746,611円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	20,904,032円
収益調整金額	C	88,779,693円
分配準備積立金額	D	31,022,964円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	144,453,300円
当ファンドの期末残存口数	F	923,347,718口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,564円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	3,693,390円

平成24年12月21日から平成25年1月21日まで
当該期末における分配対象金額345,316,505円(10,000口当たり2,397円)のうち、5,761,837円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,157,936円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	24,364,671円
分配準備積立金額	D	39,854,019円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	68,376,626円
当ファンドの期末残存口数	F	571,807,916口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,195円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	2,287,231円

平成24年7月21日から平成24年8月20日まで
当該期末における分配対象金額65,518,410円(10,000口当たり1,229円)のうち、2,131,188円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,794,996円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	23,341,341円
分配準備積立金額	D	38,382,073円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	65,518,410円
当ファンドの期末残存口数	F	532,797,119口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,229円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	2,131,188円

平成24年8月21日から平成24年9月20日まで
当該期末における分配対象金額60,185,015円(10,000口当たり1,261円)のうち、1,908,722円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,558,898円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	117,241,586円
収益調整金額	C	169,643,139円
分配準備積立金額	D	50,872,882円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	345,316,505円
当ファンドの期末残存口数	F	1,440,459,431口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,397円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	5,761,837円

平成25年1月22日から平成25年2月20日まで
当該期末における分配対象金額570,585,620円(10,000口当たり3,160円)のうち、7,220,780円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,820,224円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	132,085,628円
収益調整金額	C	266,773,681円
分配準備積立金額	D	159,906,087円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	570,585,620円
当ファンドの期末残存口数	F	1,805,195,094口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,160円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	7,220,780円

平成25年2月21日から平成25年3月21日まで
当該期末における分配対象金額878,229,201円(10,000口当たり3,452円)のうち、10,176,149円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。

項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,061,220円	費用控除後の配当等収益額	A	15,827,292円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	66,320,077円
収益調整金額	C	23,354,287円	収益調整金額	C	514,963,929円
分配準備積立金額	D	33,769,508円	分配準備積立金額	D	281,117,903円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	60,185,015円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	878,229,201円
当ファンドの期末残存口数	F	477,180,628口	当ファンドの期末残存口数	F	2,544,037,267口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,261円	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,452円
10,000口当たり分配金額	H	40円	10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	I = F × H / 10,000	1,908,722円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	10,176,149円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第41項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1 金融商品に対する取組方針 同左
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	3 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 829,141,472 円	期首元本額 477,180,628 円
期中追加設定元本額 93,532,257 円	期中追加設定元本額 2,413,311,597 円
期中一部解約元本額 445,493,101 円	期中一部解約元本額 346,454,958 円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	5,133,993	70,626,489
親投資信託受益証券	10	10
合計	5,133,983	70,626,499

3 デリバティブ取引関係
前期(平成24年9月20日現在)
該当事項はございません。
当期(平成25年3月21日現在)
該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2)株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グローバル・インフラ・ストック・ファンド - クラスUSD		3,351,256,128	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		3,351,256,128	
	組入時価比率：98.3%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		100,098	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		100,098	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			3,351,356,226	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

[次へ](#)

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間（平成24年9月21日から平成25年3月21日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	3,837,778	548,345,673
投資信託受益証券	209,483,922	2,213,063,622
親投資信託受益証券	100,049	100,098
未収入金	109,384	
未収利息	9	1,308
流動資産合計	213,531,142	2,761,510,701
資産合計	213,531,142	2,761,510,701
負債の部		
流動負債		
未払金		346,924,609
未払収益分配金	180,957	1,611,620
未払解約金		740,400
未払受託者報酬	46,404	75,794
未払委託者報酬	1,542,217	2,448,435
その他未払費用	5,678	9,063
流動負債合計	1,775,256	351,809,921
負債合計	1,775,256	351,809,921
純資産の部		
元本等		
元本	180,957,919	1,611,620,328
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	30,797,967	798,080,452
(分配準備積立金)	29,389,468	176,826,963
元本等合計	211,755,886	2,409,700,780
純資産合計	211,755,886	2,409,700,780
負債純資産合計	213,531,142	2,761,510,701

(2)損益及び剰余金計算書

科目	第4期	第5期
	自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日 金額(円)	自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日 金額(円)
営業収益		
受取配当金	14,521,080	20,964,130
受取利息	4,593	35,022
有価証券売買等損益	20,443,387	143,169,697
営業収益合計	5,917,714	164,168,849
営業費用		
受託者報酬	46,404	75,794
委託者報酬	1,542,217	2,448,435
その他費用	5,678	9,063
営業費用合計	1,594,299	2,533,292
営業利益	7,512,013	161,635,557
経常利益	7,512,013	161,635,557
当期純利益	7,512,013	161,635,557
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	8,720,786	1,045,194
期首剰余金又は期首欠損金()	73,454,271	30,797,967
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,140,073	617,666,893
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,140,073	617,666,893
剰余金減少額又は欠損金増加額	46,824,193	9,363,151
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	46,824,193	9,363,151
分配金	180,957	1,611,620
期末剰余金又は期末欠損金()	30,797,967	798,080,452

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 180,957,919 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,611,620,328 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1702 円 (10,000口当たり純資産額 11,702 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4952 円 (10,000口当たり純資産額 14,952 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額36,171,873円(10,000口当たり1,998円)のうち、180,957円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額799,692,072円(10,000口当たり4,962円)のうち、1,611,620円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">7,612,120円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">7,612,120円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">6,601,448円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">21,958,305円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">36,171,873円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">180,957,919口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">1,998円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td style="text-align: center;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">180,957円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	7,612,120円	費用控除後の配当等収益額	A	7,612,120円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	6,601,448円	分配準備積立金額	D	21,958,305円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	36,171,873円	当ファンドの期末残存口数	F	180,957,919口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,998円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	180,957円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: right;">20,450,255円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: right;">20,450,255円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: right;">135,203,198円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: right;">621,253,489円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: center;">D</td> <td style="text-align: right;">22,785,130円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: center;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">799,692,072円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: center;">F</td> <td style="text-align: right;">1,611,620,328口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: center;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">4,962円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td style="text-align: right;">10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td style="text-align: center;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">1,611,620円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	20,450,255円	費用控除後の配当等収益額	A	20,450,255円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	135,203,198円	収益調整金額	C	621,253,489円	分配準備積立金額	D	22,785,130円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	799,692,072円	当ファンドの期末残存口数	F	1,611,620,328口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	4,962円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,611,620円
項目	A	7,612,120円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	7,612,120円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	6,601,448円																																																											
分配準備積立金額	D	21,958,305円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	36,171,873円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	180,957,919口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,998円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	180,957円																																																											
項目	A	20,450,255円																																																											
費用控除後の配当等収益額	A	20,450,255円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	135,203,198円																																																											
収益調整金額	C	621,253,489円																																																											
分配準備積立金額	D	22,785,130円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	799,692,072円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,611,620,328口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	4,962円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,611,620円																																																											

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

<p>2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載 しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額 は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時 価としております。</p>	<p>2 時価の算定方法 同左</p>
--	-------------------------

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、同左 一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 450,991,172 円	期首元本額 180,957,919 円
期中追加設定元本額 21,890,789 円	期中追加設定元本額 1,480,683,497 円
期中一部解約元本額 291,924,042 円	期中一部解約元本額 50,021,088 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	5,879,999	143,417,082
親投資信託受益証券	58	49
合計	5,879,941	143,417,131

3 デリバティブ取引関係

第4期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第5期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考

投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・グローバル・インフラ・ストック・ファンド - クラスUSD		2,213,063,622	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		2,213,063,622	
	組入時価比率：91.8%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		100,098	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		100,098	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			2,213,163,720	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

(1)貸借対照表

期別	前期 平成24年9月20日現在 金額(円)	当期 平成25年3月21日現在 金額(円)
科目		
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	783,043,828	676,299,627
投資信託受益証券	27,024,030,397	24,297,879,595
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	169,918,131	155,612,940
未収利息	1,990	1,614
流動資産合計	27,977,996,511	25,130,796,433
資産合計	27,977,996,511	25,130,796,433
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	194,847,215	139,178,829
未払解約金	276,731,705	199,891,408
未払受託者報酬	610,512	498,043
未払委託者報酬	19,658,470	16,415,331
その他未払費用	73,252	61,122
流動負債合計	491,921,154	356,044,733
負債合計	491,921,154	356,044,733
純資産の部		
元本等		
元本	24,355,901,975	17,397,353,627
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	3,130,173,382	7,377,398,073
(分配準備積立金)	3,199,629,740	5,991,912,695
元本等合計	27,486,075,357	24,774,751,700
純資産合計	27,486,075,357	24,774,751,700
負債純資産合計	27,977,996,511	25,130,796,433

(2)損益及び剰余金計算書

期別	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	2,327,300,160	1,460,009,870
受取利息	441,516	277,624
有価証券売買等損益	2,888,848,519	5,273,893,257
営業収益合計	561,106,843	6,734,180,751
営業費用		
受託者報酬	4,301,565	3,334,463
委託者報酬	142,500,496	105,568,580
その他費用	530,549	393,565
営業費用合計	147,332,610	109,296,608
営業利益	708,439,453	6,624,884,143
経常利益	708,439,453	6,624,884,143
当期純利益	708,439,453	6,624,884,143
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	216,839,907	209,882,815
期首剰余金又は期首欠損金()	6,769,627,207	3,130,173,382
剰余金増加額又は欠損金減少額	502,330,605	755,039,697
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	502,330,605	755,039,697
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,226,509,064	1,962,186,172
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,226,509,064	1,962,186,172
分配金	1,423,675,820	960,630,162
期末剰余金又は期末欠損金()	3,130,173,382	7,377,398,073

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当該財務諸表の特定期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 特定期間の末日における受益権の総数 24,355,901,975 口	1 特定期間の末日における受益権の総数 17,397,353,627 口
2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.1285 円 (10,000口当たり純資産額 11,285 円)	2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.4241 円 (10,000口当たり純資産額 14,241 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 平成24年3月22日から平成24年4月20日まで 当該期末における分配対象金額7,376,538,690円(10,000口当たり2,091円)のうち、282,217,963円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 平成24年9月21日から平成24年10月22日まで 当該期末における分配対象金額5,519,945,288円(10,000口当たり2,375円)のうち、185,890,907円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>419,387,399 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>2,536,922,609 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>4,420,228,682 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>7,376,538,690 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>35,277,245,491 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>2,091 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>282,217,963 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	419,387,399 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	2,536,922,609 円	分配準備積立金額	D	4,420,228,682 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	7,376,538,690 円	当ファンドの期末残存口数	F	35,277,245,491 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,091 円	10,000口当たり分配金額	H	80 円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	282,217,963 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>282,812,564 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>2,284,926,898 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>2,952,205,826 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>5,519,945,288 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>23,236,363,404 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>2,375 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>185,890,907 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	282,812,564 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	2,284,926,898 円	分配準備積立金額	D	2,952,205,826 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,519,945,288 円	当ファンドの期末残存口数	F	23,236,363,404 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,375 円	10,000口当たり分配金額	H	80 円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	185,890,907 円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	419,387,399 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	2,536,922,609 円																																																											
分配準備積立金額	D	4,420,228,682 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	7,376,538,690 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	35,277,245,491 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,091 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80 円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	282,217,963 円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	282,812,564 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	2,284,926,898 円																																																											
分配準備積立金額	D	2,952,205,826 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,519,945,288 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	23,236,363,404 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,375 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80 円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	185,890,907 円																																																											
平成24年4月21日から平成24年5月21日まで 当該期末における分配対象金額6,996,977,425円(10,000口当たり2,134円)のうち、262,302,706円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。	平成24年10月23日から平成24年11月20日まで 当該期末における分配対象金額5,394,685,342円(10,000口当たり2,421円)のうち、178,262,341円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。																																																												

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	393,193,870 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	2,426,339,201 円
分配準備積立金額	D	4,177,444,354 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	6,996,977,425 円
当ファンドの期末残存口数	F	32,787,838,278 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,134 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	262,302,706 円

平成24年5月22日から平成24年6月20日まで
当該期末における分配対象金額6,795,791,881円(10,000口当たり2,183円)のうち、248,995,784円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	394,581,974 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	2,403,823,389 円
分配準備積立金額	D	3,997,386,518 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	6,795,791,881 円
当ファンドの期末残存口数	F	31,124,473,044 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,183 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	248,995,784 円

平成24年6月21日から平成24年7月20日まで
当該期末における分配対象金額6,461,301,632円(10,000口当たり2,233円)のうち、231,384,362円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	274,837,720 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	2,243,214,210 円
分配準備積立金額	D	2,876,633,412 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,394,685,342 円
当ファンドの期末残存口数	F	22,282,792,696 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,421 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	178,262,341 円

平成24年11月21日から平成24年12月20日まで
当該期末における分配対象金額5,204,176,208円(10,000口当たり2,535円)のうち、164,199,277円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	221,911,091 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	169,466,464 円
収益調整金額	C	2,147,998,350 円
分配準備積立金額	D	2,664,800,303 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,204,176,208 円
当ファンドの期末残存口数	F	20,524,909,684 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,535 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	164,199,277 円

平成24年12月21日から平成25年1月21日まで
当該期末における分配対象金額6,893,414,905円(10,000口当たり3,649円)のうち、151,104,360円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	367,646,014 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	2,351,623,113 円
分配準備積立金額	D	3,742,032,505 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	6,461,301,632 円
当ファンドの期末残存口数	F	28,923,045,265 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,233 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	231,384,362 円

平成24年7月21日から平成24年8月20日まで
当該期末における分配対象金額5,824,481,164円(10,000口当たり2,284円)のうち、203,927,790円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	320,128,940 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	2,168,122,657 円
分配準備積立金額	D	3,336,229,567 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,824,481,164 円
当ファンドの期末残存口数	F	25,490,973,864 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,284 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	203,927,790 円

平成24年8月21日から平成24年9月20日まで
当該期末における分配対象金額5,676,654,326円(10,000口当たり2,330円)のうち、194,847,215円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	204,911,278 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	2,043,018,931 円
収益調整金額	C	2,047,821,792 円
分配準備積立金額	D	2,597,662,904 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	6,893,414,905 円
当ファンドの期末残存口数	F	18,888,045,050 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,649 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	151,104,360 円

平成25年1月22日から平成25年2月20日まで
当該期末における分配対象金額7,822,604,489円(10,000口当たり4,407円)のうち、141,994,448円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	192,921,462 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	1,288,284,031 円
収益調整金額	C	2,009,136,118 円
分配準備積立金額	D	4,332,262,878 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	7,822,604,489 円
当ファンドの期末残存口数	F	17,749,306,117 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	4,407 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	141,994,448 円

平成25年2月21日から平成25年3月21日まで
当該期末における分配対象金額8,316,208,816円(10,000口当たり4,780円)のうち、139,178,829円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	294,989,046 円	費用控除後の配当等収益額	A	203,554,560 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B		費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	578,339,216 円
収益調整金額	C	2,282,177,371 円	収益調整金額	C	2,185,117,292 円
分配準備積立金額	D	3,099,487,909 円	分配準備積立金額	D	5,349,197,748 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	5,676,654,326 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	8,316,208,816 円
当ファンドの期末残存口数	F	24,355,901,975 口	当ファンドの期末残存口数	F	17,397,353,627 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,330 円	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	4,780 円
10,000口当たり分配金額	H	80 円	10,000口当たり分配金額	H	80 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	194,847,215 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	139,178,829 円

(金融商品に関する注記)

(1) 金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p>
<p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p>	<p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p>
<p>3 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>3 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 40,041,793,369 円	期首元本額 24,355,901,975 円
期中追加設定元本額 5,340,916,002 円	期中追加設定元本額 3,449,101,472 円
期中一部解約元本額 21,026,807,396 円	期中一部解約元本額 10,407,649,820 円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	323,781,218	592,121,515
親投資信託受益証券	99	98
合計	323,781,119	592,121,613

3 デリバティブ取引関係
前期(平成24年9月20日現在)
該当事項はございません。
当期(平成25年3月21日現在)
該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2)株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド-グローバル・インフラ・ストック・ファンド-クラスAUD		24,297,879,595	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		24,297,879,595	
	組入時価比率：98.1%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		1,002,657	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			24,298,882,252	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第4期 平成24年9月20日現在 金額(円)	第5期 平成25年3月21日現在 金額(円)
科目		
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	45,323,328	77,547,068
投資信託受益証券	2,126,257,575	2,257,392,655
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	50,015,753	2,211,591
未収利息	115	185
流動資産合計	2,222,598,936	2,338,154,156
資産合計	2,222,598,936	2,338,154,156
負債の部		
流動負債		
未払金		7,101,699
未払収益分配金	1,635,407	1,309,246
未払解約金	25,515,284	27,701,397
未払受託者報酬	337,593	279,684
未払委託者報酬	11,181,627	8,862,914
その他未払費用	41,572	32,988
流動負債合計	38,711,483	45,287,928
負債合計	38,711,483	45,287,928
純資産の部		
元本等		
元本	1,635,407,418	1,309,246,181
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	548,480,035	983,620,047
(分配準備積立金)	442,128,005	705,059,118
元本等合計	2,183,887,453	2,292,866,228
純資産合計	2,183,887,453	2,292,866,228
負債純資産合計	2,222,598,936	2,338,154,156

(2)損益及び剰余金計算書

期別	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	181,328,280	122,518,350
受取利息	38,641	27,960
有価証券売買等損益	212,017,052	459,401,427
営業収益合計	30,650,131	581,947,737
営業費用		
受託者報酬	337,593	279,684
委託者報酬	11,181,627	8,862,914
その他費用	41,572	32,988
営業費用合計	11,560,792	9,175,586
営業利益	42,210,923	572,772,151
経常利益	42,210,923	572,772,151
当期純利益	42,210,923	572,772,151
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	77,372,724	80,167,723
期首剰余金又は期首欠損金()	927,776,816	548,480,035
剰余金増加額又は欠損金減少額	123,066,757	197,097,013
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	123,066,757	197,097,013
剰余金減少額又は欠損金増加額	535,889,932	253,252,183
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	535,889,932	253,252,183
分配金	1,635,407	1,309,246
期末剰余金又は期末欠損金()	548,480,035	983,620,047

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	約定期基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 1,635,407,418 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 1,309,246,181 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.3354 円 (10,000口当たり純資産額 13,354 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.7513 円 (10,000口当たり純資産額 17,513 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額652,052,445円(10,000口当たり3,987円)のうち、1,635,407円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額984,929,293円(10,000口当たり7,522円)のうち、1,309,246円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>120,735,414 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>208,289,033 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>323,027,998 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>652,052,445 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>1,635,407,418 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>3,987 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>1,635,407 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	120,735,414 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	208,289,033 円	分配準備積立金額	D	323,027,998 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	652,052,445 円	当ファンドの期末残存口数	F	1,635,407,418 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,987 円	10,000口当たり分配金額	H	10 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,635,407 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>97,855,335 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>343,858,752 円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>278,560,929 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>264,654,277 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>984,929,293 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>1,309,246,181 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>7,522 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>1,309,246 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	97,855,335 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	343,858,752 円	収益調整金額	C	278,560,929 円	分配準備積立金額	D	264,654,277 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	984,929,293 円	当ファンドの期末残存口数	F	1,309,246,181 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	7,522 円	10,000口当たり分配金額	H	10 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,309,246 円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	120,735,414 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	208,289,033 円																																																											
分配準備積立金額	D	323,027,998 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	652,052,445 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,635,407,418 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,987 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10 円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,635,407 円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	97,855,335 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	343,858,752 円																																																											
収益調整金額	C	278,560,929 円																																																											
分配準備積立金額	D	264,654,277 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	984,929,293 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	1,309,246,181 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	7,522 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10 円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	1,309,246 円																																																											

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

2 時価の算定方法

投資信託受益証券及び親投資信託受益証券
(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載
しております。

コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額
は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時
価としております。

2 時価の算定方法

同左

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、同左 一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 2,874,740,211 円	期首元本額 1,635,407,418 円
期中追加設定元本額 456,721,098 円	期中追加設定元本額 423,793,776 円
期中一部解約元本額 1,696,053,891 円	期中一部解約元本額 749,955,013 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	97,509,411	418,671,564
親投資信託受益証券	591	492
合計	97,508,820	418,672,056

3 デリバティブ取引関係

第4期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第5期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考

投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・グローバル・インフラ・ストック・ファンド - クラスAUD		2,257,392,655	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		2,257,392,655	
	組入時価比率：98.5%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		1,002,657	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			2,258,395,312	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

[次へ](#)

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（平成24年9月21日から平成25年3月21日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型

(1)貸借対照表

科目	期別 前期 平成24年9月20日現在 金額(円)	当期 平成25年3月21日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	4,784,876,599	11,242,972,576
投資信託受益証券	144,049,185,543	176,669,607,817
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	1,013,309,621	
未収利息	12,161	26,835
流動資産合計	149,848,386,089	187,913,609,885
資産合計	149,848,386,089	187,913,609,885
負債の部		
流動負債		
未払金		4,182,615,789
未払収益分配金	2,324,932,053	2,316,350,693
未払解約金	1,392,443,143	1,070,210,279
未払受託者報酬	3,313,871	3,452,805
未払委託者報酬	106,706,663	113,873,431
その他未払費用	397,658	424,059
流動負債合計	3,827,793,388	7,686,927,056
負債合計	3,827,793,388	7,686,927,056
純資産の部		
元本等		
元本	178,840,927,226	178,180,822,556
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	32,820,334,525	2,045,860,273
(分配準備積立金)	26,071,242,557	22,059,233,994
元本等合計	146,020,592,701	180,226,682,829
純資産合計	146,020,592,701	180,226,682,829
負債純資産合計	149,848,386,089	187,913,609,885

(2)損益及び剰余金計算書

期別	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	26,063,166,420	17,364,847,510
受取利息	1,869,154	2,016,989
有価証券売買等損益	45,210,392,214	25,834,111,755
営業収益合計	19,145,356,640	43,200,976,254
営業費用		
受託者報酬	23,290,332	18,780,863
委託者報酬	771,940,401	596,173,494
その他費用	2,874,268	2,222,662
営業費用合計	798,105,001	617,177,019
営業利益	19,943,461,641	42,583,799,235
経常利益	19,943,461,641	42,583,799,235
当期純利益	19,943,461,641	42,583,799,235
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	847,366,092	1,031,368,744
期首剰余金又は期首欠損金()	9,058,878,910	32,820,334,525
剰余金増加額又は欠損金減少額	12,785,580,401	8,346,469,801
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	12,785,580,401	8,346,469,801
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,114,831,519	2,360,402,081
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,114,831,519	2,360,402,081
分配金	16,336,108,948	12,672,303,413
期末剰余金又は期末欠損金()	32,820,334,525	2,045,860,273

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当該財務諸表の特定期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 特定期間の末日における受益権の総数 178,840,927,226 口	1 特定期間の末日における受益権の総数 178,180,822,556 口
2 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 32,820,334,525 円	
3 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.8165 円 (10,000口当たり純資産額 8,165 円)	2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0115 円 (10,000口当たり純資産額 10,115 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 平成24年3月22日から平成24年4月20日まで 当該期末における分配対象金額41,562,941,520円(10,000口当たり1,723円)のうち、3,134,343,937円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 平成24年9月21日から平成24年10月22日まで 当該期末における分配対象金額36,224,372,092円(10,000口当たり2,163円)のうち、2,176,397,486円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,672,596,097 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>11,141,289,309 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>25,749,056,114 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>41,562,941,520 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>241,103,379,790 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,723 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>130 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>3,134,343,937 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,672,596,097 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	11,141,289,309 円	分配準備積立金額	D	25,749,056,114 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	41,562,941,520 円	当ファンドの期末残存口数	F	241,103,379,790 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,723 円	10,000口当たり分配金額	H	130 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	3,134,343,937 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,437,420,635 円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>8,524,551,714 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>24,262,399,743 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>36,224,372,092 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>167,415,191,279 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>2,163 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>130 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>2,176,397,486 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,437,420,635 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	8,524,551,714 円	分配準備積立金額	D	24,262,399,743 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	36,224,372,092 円	当ファンドの期末残存口数	F	167,415,191,279 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,163 円	10,000口当たり分配金額	H	130 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,176,397,486 円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,672,596,097 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	11,141,289,309 円																																																											
分配準備積立金額	D	25,749,056,114 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	41,562,941,520 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	241,103,379,790 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,723 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	130 円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	3,134,343,937 円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,437,420,635 円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	8,524,551,714 円																																																											
分配準備積立金額	D	24,262,399,743 円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	36,224,372,092 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	167,415,191,279 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,163 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	130 円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,176,397,486 円																																																											
平成24年4月21日から平成24年5月21日まで 当該期末における分配対象金額40,598,621,347円(10,000口当たり1,791円)のうち、2,945,930,833円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。	平成24年10月23日から平成24年11月20日まで 当該期末における分配対象金額35,917,420,365円(10,000口当たり2,243円)のうち、2,081,306,404円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。																																																												

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,441,400,201 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	10,565,093,581 円
分配準備積立金額	D	25,592,127,565 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	40,598,621,347 円
当ファンドの期末残存口数	F	226,610,064,130 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,791 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,945,930,833 円

平成24年5月22日から平成24年6月20日まで
当該期末における分配対象金額40,237,375,119円(10,000口当たり1,861円)のうち、2,810,047,135円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,295,135,052 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	10,192,455,120 円
分配準備積立金額	D	25,749,784,947 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	40,237,375,119 円
当ファンドの期末残存口数	F	216,157,471,967 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,861 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,810,047,135 円

平成24年6月21日から平成24年7月20日まで
当該期末における分配対象金額39,547,335,400円(10,000口当たり1,936円)のうち、2,654,378,734円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,329,314,388 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	8,453,862,471 円
分配準備積立金額	D	24,134,243,506 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	35,917,420,365 円
当ファンドの期末残存口数	F	160,100,492,650 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,243 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,081,306,404 円

平成24年11月21日から平成24年12月20日まで
当該期末における分配対象金額34,961,854,461円(10,000口当たり2,269円)のうち、2,003,025,961円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,352,581,628 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	8,677,385,512 円
分配準備積立金額	D	23,931,887,321 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	34,961,854,461 円
当ファンドの期末残存口数	F	154,078,920,098 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,269 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,003,025,961 円

平成24年12月21日から平成25年1月21日まで
当該期末における分配対象金額35,728,934,942円(10,000口当たり2,294円)のうち、2,024,578,146円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,166,790,385 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	9,742,654,361 円
分配準備積立金額	D	25,637,890,654 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	39,547,335,400 円
当ファンドの期末残存口数	F	204,182,979,583 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,936 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,654,378,734 円

平成24年7月21日から平成24年8月20日まで
当該期末における分配対象金額38,152,346,989円(10,000口当たり2,010円)のうち、2,466,476,256円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,827,207,497 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	9,199,188,063 円
分配準備積立金額	D	25,125,951,429 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	38,152,346,989 円
当ファンドの期末残存口数	F	189,728,942,826 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,010 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,466,476,256 円

平成24年8月21日から平成24年9月20日まで
当該期末における分配対象金額37,313,314,587円(10,000口当たり2,086円)のうち、2,324,932,053円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,363,083,622 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	9,998,210,320 円
分配準備積立金額	D	23,367,641,000 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	35,728,934,942 円
当ファンドの期末残存口数	F	155,736,780,464 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,294 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,024,578,146 円

平成25年1月22日から平成25年2月20日まで
当該期末における分配対象金額37,126,003,555円(10,000口当たり2,330円)のうち、2,070,644,723円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,571,529,236 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	12,461,668,933 円
分配準備積立金額	D	22,092,805,386 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	37,126,003,555 円
当ファンドの期末残存口数	F	159,280,363,349 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,330 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,070,644,723 円

平成25年2月21日から平成25年3月21日まで
当該期末における分配対象金額42,098,383,337円(10,000口当たり2,362円)のうち、2,316,350,693円(10,000口当たり130円)を分配金額としております。

項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,638,663,042 円	費用控除後の配当等収益額	A	2,717,496,133 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	8,917,139,977 円	収益調整金額	C	17,722,798,650 円
分配準備積立金額	D	24,757,511,568 円	分配準備積立金額	D	21,658,088,554 円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	37,313,314,587 円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	42,098,383,337 円
当ファンドの期末残存口数	F	178,840,927,226 口	当ファンドの期末残存口数	F	178,180,822,556 口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,086 円	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,362 円
10,000口当たり分配金額	H	130 円	10,000口当たり分配金額	H	130 円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,324,932,053 円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	2,316,350,693 円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第41項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1 金融商品に対する取組方針 同左
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	3 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 264,561,711,203 円	期首元本額 178,840,927,226 円
期中追加設定元本額 7,516,903,050 円	期中追加設定元本額 54,933,964,817 円
期中一部解約元本額 93,237,687,027 円	期中一部解約元本額 55,594,069,487 円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	3,990,588,645	842,691,583
親投資信託受益証券	99	98
合計	3,990,588,546	842,691,681

3 デリバティブ取引関係
前期(平成24年9月20日現在)
該当事項はございません。
当期(平成25年3月21日現在)
該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
投資信託受益 証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グ ローバル・インフラ・ストック・ ファンド - クラスBRL		176,669,607,817	
投資信託受益 証券計	銘柄数：1 組入時価比率：98.0%		176,669,607,817 100.0%	
親投資信託受 益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受 益証券計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%		1,002,657 0.0%	
合計			176,670,610,474	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

また、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	66,710,025	617,077,603
投資信託受益証券	3,781,261,764	6,130,504,296
親投資信託受益証券	1,002,165	1,002,657
未収入金	33,508,713	
未収利息	169	1,472
流動資産合計	3,882,482,836	6,748,586,028
資産合計	3,882,482,836	6,748,586,028
負債の部		
流動負債		
未払金		208,004,708
未払収益分配金	3,456,724	4,234,387
未払解約金	21,509,068	162,042,403
未払受託者報酬	568,761	570,924
未払委託者報酬	18,834,215	18,150,826
その他未払費用	70,068	67,604
流動負債合計	44,438,836	393,070,852
負債合計	44,438,836	393,070,852
純資産の部		
元本等		
元本	3,456,724,498	4,234,387,995
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	381,319,502	2,121,127,181
(分配準備積立金)	1,404,944,201	1,297,586,849
元本等合計	3,838,044,000	6,355,515,176
純資産合計	3,838,044,000	6,355,515,176
負債純資産合計	3,882,482,836	6,748,586,028

(2)損益及び剰余金計算書

期別	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	633,965,940	519,517,110
受取利息	50,528	87,815
有価証券売買等損益	1,053,459,749	854,960,521
営業収益合計	419,443,281	1,374,565,446
営業費用		
受託者報酬	568,761	570,924
委託者報酬	18,834,215	18,150,826
その他費用	70,068	67,604
営業費用合計	19,473,044	18,789,354
営業利益	438,916,325	1,355,776,092
経常利益	438,916,325	1,355,776,092
当期純利益	438,916,325	1,355,776,092
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	186,492,280	228,380,454
期首剰余金又は期首欠損金()	1,010,681,675	381,319,502
剰余金増加額又は欠損金減少額	26,535,482	829,898,497
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	26,535,482	829,898,497
剰余金減少額又は欠損金増加額	400,016,886	213,252,069
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	400,016,886	213,252,069
分配金	3,456,724	4,234,387
期末剰余金又は期末欠損金()	381,319,502	2,121,127,181

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	約定期基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 3,456,724,498 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 4,234,387,995 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1103 円 (10,000口当たり純資産額 11,103 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.5009 円 (10,000口当たり純資産額 15,009 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額1,783,639,350円(10,000口当たり5,159円)のうち、3,456,724円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額2,811,529,964円(10,000口当たり6,639円)のうち、4,234,387円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: center;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: right;">509,274,991 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: right;">375,238,425 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: right;">899,125,934 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: right;">1,783,639,350 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: right;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">3,456,724,498 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: right;">F</td> <td style="text-align: right;">3,456,724,498 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: right;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">5,159 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: right;">H</td> <td style="text-align: right;">10 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td style="text-align: right;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">3,456,724 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	B	費用控除後の配当等収益額	509,274,991 円		費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	375,238,425 円		収益調整金額	899,125,934 円		分配準備積立金額	1,783,639,350 円		当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	3,456,724,498 円	当ファンドの期末残存口数	F	3,456,724,498 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	5,159 円	10,000口当たり分配金額	H	10 円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	3,456,724 円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: center;">B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td style="text-align: right;">411,236,131 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td style="text-align: right;">1,509,708,728 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td style="text-align: right;">890,585,105 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td style="text-align: right;">2,811,529,964 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td style="text-align: right;">E = A+B+C+D</td> <td style="text-align: right;">4,234,387,995 円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td style="text-align: right;">F</td> <td style="text-align: right;">4,234,387,995 口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td style="text-align: right;">G = E / F × 10,000</td> <td style="text-align: right;">6,639 円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td style="text-align: right;">H</td> <td style="text-align: right;">10 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金額</td> <td style="text-align: right;">I = F × H / 10,000</td> <td style="text-align: right;">4,234,387 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	A	B	費用控除後の配当等収益額	411,236,131 円		費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,509,708,728 円		収益調整金額	890,585,105 円		分配準備積立金額	2,811,529,964 円		当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	4,234,387,995 円	当ファンドの期末残存口数	F	4,234,387,995 口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	6,639 円	10,000口当たり分配金額	H	10 円	収益分配金額	I = F × H / 10,000	4,234,387 円
項目	A	B																																																											
費用控除後の配当等収益額	509,274,991 円																																																												
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	375,238,425 円																																																												
収益調整金額	899,125,934 円																																																												
分配準備積立金額	1,783,639,350 円																																																												
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	3,456,724,498 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,456,724,498 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	5,159 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10 円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	3,456,724 円																																																											
項目	A	B																																																											
費用控除後の配当等収益額	411,236,131 円																																																												
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,509,708,728 円																																																												
収益調整金額	890,585,105 円																																																												
分配準備積立金額	2,811,529,964 円																																																												
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	4,234,387,995 円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,234,387,995 口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	6,639 円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10 円																																																											
収益分配金額	I = F × H / 10,000	4,234,387 円																																																											

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

<p>2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載 しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額 は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時 価としております。</p>	<p>2 時価の算定方法 同左</p>
--	-------------------------

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、同左 一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 5,156,109,100 円	期首元本額 3,456,724,498 円
期中追加設定元本額 413,975,912 円	期中追加設定元本額 2,371,544,967 円
期中一部解約元本額 2,113,360,514 円	期中一部解約元本額 1,593,881,470 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	792,356,486	816,386,149
親投資信託受益証券	591	492
合計	792,355,895	816,386,641

3 デリバティブ取引関係

第4期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第5期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考

投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グローバル・インフラ・ストック・ファンド - クラスBRL		6,130,504,296	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		6,130,504,296	
	組入時価比率：96.5%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		1,002,657	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		1,002,657	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			6,131,506,953	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

(1)貸借対照表

期別	前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	322,294,833	2,148,060,220
投資信託受益証券	4,216,614,023	14,654,153,430
親投資信託受益証券	1,000,492	1,000,983
未収入金	8,903,742	
未収利息	819	5,127
流動資産合計	4,548,813,909	16,803,219,760
資産合計	4,548,813,909	16,803,219,760
負債の部		
流動負債		
未払金	96,909,609	1,492,915,902
未払収益分配金	42,608,036	119,155,688
未払解約金	109,632,169	118,099,470
未払受託者報酬	89,617	247,186
未払委託者報酬	2,885,609	8,162,975
その他未払費用	10,744	30,389
流動負債合計	252,135,784	1,738,611,610
負債合計	252,135,784	1,738,611,610
純資産の部		
元本等		
元本	4,260,803,667	11,915,568,835
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	35,874,458	3,149,039,315
(分配準備積立金)	234,610,458	1,326,854,427
元本等合計	4,296,678,125	15,064,608,150
純資産合計	4,296,678,125	15,064,608,150
負債純資産合計	4,548,813,909	16,803,219,760

(2)損益及び剰余金計算書

科目	前期	当期
	自平成24年3月22日 至平成24年9月20日	自平成24年9月21日 至平成25年3月21日
	金額(円)	金額(円)
営業収益		
受取配当金	344,432,180	495,168,430
受取利息	72,218	225,536
有価証券売買等損益	384,254,557	1,468,014,478
営業収益合計	39,750,159	1,963,408,444
営業費用		
受託者報酬	473,993	876,842
委託者報酬	15,615,348	28,012,633
その他費用	58,095	104,358
営業費用合計	16,147,436	28,993,833
営業利益	55,897,595	1,934,414,611
経常利益	55,897,595	1,934,414,611
当期純利益	55,897,595	1,934,414,611
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	3,191,002	58,652,620
期首剰余金又は期首欠損金()	275,767,375	35,874,458
剰余金増加額又は欠損金減少額	41,435,596	1,840,974,956
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	9,173,844	
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	32,261,752	1,840,974,956
剰余金減少額又は欠損金増加額		206,150,174
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		206,150,174
分配金	228,621,920	397,421,916
期末剰余金又は期末欠損金()	35,874,458	3,149,039,315

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	(2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当該財務諸表の特定期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 特定期間の末日における受益権の総数 4,260,803,667 口	1 特定期間の末日における受益権の総数 11,915,568,835 口
2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.0084 円 (10,000口当たり純資産額 10,084 円)	2 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.2643 円 (10,000口当たり純資産額 12,643 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日																																																												
1 分配金の計算過程 平成24年3月22日から平成24年4月20日まで 当該期末における分配対象金額428,203,147円(10,000口当たり1,310円)のうち、32,669,041円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 平成24年9月21日から平成24年10月22日まで 当該期末における分配対象金額736,064,639円(10,000口当たり1,576円)のうち、46,698,003円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>53,596,869円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>192,617,161円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>181,989,117円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>428,203,147円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>3,266,904,121口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,310円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>32,669,041円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	53,596,869円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	192,617,161円	分配準備積立金額	D	181,989,117円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	428,203,147円	当ファンドの期末残存口数	F	3,266,904,121口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,310円	10,000口当たり分配金額	H	100円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	32,669,041円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>60,591,519円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>451,744,032円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>223,729,088円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E = A+B+C+D</td> <td>736,064,639円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>4,669,800,371口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G = E / F × 10,000</td> <td>1,576円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I = F × H / 10,000</td> <td>46,698,003円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	60,591,519円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	451,744,032円	分配準備積立金額	D	223,729,088円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	736,064,639円	当ファンドの期末残存口数	F	4,669,800,371口	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,576円	10,000口当たり分配金額	H	100円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	46,698,003円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	53,596,869円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	192,617,161円																																																											
分配準備積立金額	D	181,989,117円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	428,203,147円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	3,266,904,121口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,310円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	100円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	32,669,041円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	60,591,519円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	451,744,032円																																																											
分配準備積立金額	D	223,729,088円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	736,064,639円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	4,669,800,371口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,576円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	100円																																																											
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	46,698,003円																																																											
平成24年4月21日から平成24年5月21日まで 当該期末における分配対象金額500,892,279円(10,000口当たり1,382円)のうち、36,219,462円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。	平成24年10月23日から平成24年11月20日まで 当該期末における分配対象金額769,632,505円(10,000口当たり1,614円)のうち、47,674,446円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。																																																												

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	61,081,878円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	239,277,986円
分配準備積立金額	D	200,532,415円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	500,892,279円
当ファンドの期末残存口数	F	3,621,946,270口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,382円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	36,219,462円

平成24年5月22日から平成24年6月20日まで
当該期末における分配対象金額540,837,131円(10,000口当たり1,420円)のうち、38,072,048円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	50,869,062円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	272,835,659円
分配準備積立金額	D	217,132,410円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	540,837,131円
当ファンドの期末残存口数	F	3,807,204,879口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,420円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	38,072,048円

平成24年6月21日から平成24年7月20日まで
当該期末における分配対象金額586,918,021円(10,000口当たり1,461円)のうち、40,166,797円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	64,986,039円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	474,019,318円
分配準備積立金額	D	230,627,148円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	769,632,505円
当ファンドの期末残存口数	F	4,767,444,674口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,614円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	47,674,446円

平成24年11月21日から平成24年12月20日まで
当該期末における分配対象金額811,077,471円(10,000口当たり1,647円)のうち、49,222,355円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	62,170,622円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	521,402,784円
分配準備積立金額	D	227,504,065円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	811,077,471円
当ファンドの期末残存口数	F	4,922,235,535口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,647円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	49,222,355円

平成24年12月21日から平成25年1月21日まで
当該期末における分配対象金額1,406,585,902円(10,000口当たり2,497円)のうち、56,317,074円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	53,931,343円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	312,301,985円
分配準備積立金額	D	220,684,693円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	586,918,021円
当ファンドの期末残存口数	F	4,016,679,778口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,461円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	40,166,797円

平成24年7月21日から平成24年8月20日まで
当該期末における分配対象金額584,128,913円(10,000口当たり1,502円)のうち、38,886,536円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	53,836,056円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	312,889,149円
分配準備積立金額	D	217,403,708円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	584,128,913円
当ファンドの期末残存口数	F	3,888,653,634口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,502円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	38,886,536円

平成24年8月21日から平成24年9月20日まで
当該期末における分配対象金額655,569,687円(10,000口当たり1,538円)のうち、42,608,036円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	68,123,605円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	460,748,960円
収益調整金額	C	649,646,291円
分配準備積立金額	D	228,067,046円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	1,406,585,902円
当ファンドの期末残存口数	F	5,631,707,499口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	2,497円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	56,317,074円

平成25年1月22日から平成25年2月20日まで
当該期末における分配対象金額2,505,953,768円(10,000口当たり3,198円)のうち、78,354,350円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	92,253,205円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	525,953,802円
収益調整金額	C	1,246,076,240円
分配準備積立金額	D	641,670,521円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	2,505,953,768円
当ファンドの期末残存口数	F	7,835,435,059口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,198円
10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	78,354,350円

平成25年2月21日から平成25年3月21日まで
当該期末における分配対象金額4,030,952,409円(10,000口当たり3,382円)のうち、119,155,688円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	55,618,626円	費用控除後の配当等収益額	A	127,279,639円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B		費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	187,949,954円
収益調整金額	C	378,351,193円	収益調整金額	C	2,584,942,294円
分配準備積立金額	D	221,599,868円	分配準備積立金額	D	1,130,780,522円
当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	655,569,687円	当ファンドの分配対象収益額	E = A+B+C+D	4,030,952,409円
当ファンドの期末残存口数	F	4,260,803,667口	当ファンドの期末残存口数	F	11,915,568,835口
10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	1,538円	10,000口当たり収益分配対象額	G = E / F × 10,000	3,382円
10,000口当たり分配金額	H	100円	10,000口当たり分配金額	H	100円
収益分配金金額	I = F × H / 10,000	42,608,036円	収益分配金金額	I = F × H / 10,000	119,155,688円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第41項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1 金融商品に対する取組方針 同左
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左
3 金融商品に係るリスク管理体制	3 金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成24年9月20日現在	当期 平成25年3月21日現在
1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左
2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2 時価の算定方法 同左

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 2,668,034,760 円	期首元本額 4,260,803,667 円
期中追加設定元本額 2,569,223,865 円	期中追加設定元本額 9,772,698,039 円
期中一部解約元本額 976,454,958 円	期中一部解約元本額 2,117,932,871 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	前期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	当期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	1,311,518	196,025,040
親投資信託受益証券	98	98
合計	1,311,420	196,025,138

3 デリバティブ取引関係
前期(平成24年9月20日現在)
該当事項はございません。
当期(平成25年3月21日現在)
該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券 (平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
投資信託受益 証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グ ローバル・インフラ・ストック・ ファンド - 通貨セレクトクラス		14,654,153,430	
投資信託受益 証券計	銘柄数：1		14,654,153,430	
	組入時価比率：97.3%		100.0%	
親投資信託受 益証券	野村マネーマザーファンド		1,000,983	
親投資信託受 益証券計	銘柄数：1		1,000,983	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			14,655,154,413	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対す
る比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はございません。

[次へ](#)

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3期計算期間（平成24年9月21日から平成25年3月21日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第2期 平成24年9月20日現在	第3期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	22,351,263	428,496,538
投資信託受益証券	652,261,865	3,025,044,108
親投資信託受益証券	100,049	100,098
未収利息	56	1,022
流動資産合計	674,713,233	3,453,641,766
資産合計	674,713,233	3,453,641,766
負債の部		
流動負債		
未払金	11,201,878	282,703,432
未払収益分配金	594,384	2,167,371
未払解約金		14,450
未払受託者報酬	58,942	161,459
未払委託者報酬	1,938,773	5,163,139
その他未払費用	7,158	19,186
流動負債合計	13,801,135	290,229,037
負債合計	13,801,135	290,229,037
純資産の部		
元本等		
元本	594,384,845	2,167,371,095
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	66,527,253	996,041,634
(分配準備積立金)	46,530,544	293,291,820
元本等合計	660,912,098	3,163,412,729
純資産合計	660,912,098	3,163,412,729
負債純資産合計	674,713,233	3,453,641,766

(2)損益及び剰余金計算書

科目	第2期	第3期
	自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日 金額(円)	自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日 金額(円)
営業収益		
受取配当金	43,934,460	92,708,500
受取利息	12,749	54,422
有価証券売買等損益	41,502,998	266,256,346
営業収益合計	2,444,211	359,019,268
営業費用		
受託者報酬	58,942	161,459
委託者報酬	1,938,773	5,163,139
その他費用	7,158	19,186
営業費用合計	2,004,873	5,343,784
営業利益	439,338	353,675,484
経常利益	439,338	353,675,484
当期純利益	439,338	353,675,484
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	7,046,872	66,447,485
期首剰余金又は期首欠損金()	32,338,291	66,527,253
剰余金増加額又は欠損金減少額	42,952,528	733,556,762
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額	42,952,528	733,556,762
剰余金減少額又は欠損金増加額	15,655,392	89,103,009
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額	15,655,392	89,103,009
分配金	594,384	2,167,371
期末剰余金又は期末欠損金()	66,527,253	996,041,634

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準 及び評価方法	(1) 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の 売買が行われる日において、当該収益分配金額を計上しております。 (2) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第2期 平成24年9月20日現在	第3期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 594,384,845 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 2,167,371,095 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.1119 円 (10,000口当たり純資産額 11,119 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 1.4596 円 (10,000口当たり純資産額 14,596 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第2期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第3期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額113,518,644円(10,000口当たり1,909円)のうち、594,384円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額998,209,005円(10,000口当たり4,605円)のうち、2,167,371円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。
項目	項目
費用控除後の配当等収益額 A 37,607,169円	費用控除後の配当等収益額 A 71,334,279円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 B 円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 B 201,640,107円
収益調整金額 C 66,393,716円	収益調整金額 C 702,749,814円
分配準備積立金額 D 9,517,759円	分配準備積立金額 D 22,484,805円
当ファンドの分配対象収益額 E = A+B+C+D 113,518,644円	当ファンドの分配対象収益額 E = A+B+C+D 998,209,005円
当ファンドの期末残存口数 F 594,384,845口	当ファンドの期末残存口数 F 2,167,371,095口
10,000口当たり収益分配対象額 G = E / F × 10,000 1,909円	10,000口当たり収益分配対象額 G = E / F × 10,000 4,605円
10,000口当たり分配金額 H 10円	10,000口当たり分配金額 H 10円
収益分配金金額 I = F × H / 10,000 594,384円	収益分配金金額 I = F × H / 10,000 2,167,371円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第2期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第3期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第2期 平成24年9月20日現在	第3期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

<p>2 時価の算定方法 投資信託受益証券及び親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載 しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額 は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時 価としております。</p>	<p>2 時価の算定方法 同左</p>
--	-------------------------

(関連当事者との取引に関する注記)

第2期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第3期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第2期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第3期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 223,835,221 円	期首元本額 594,384,845 円
期中追加設定元本額 498,340,534 円	期中追加設定元本額 2,189,863,538 円
期中一部解約元本額 127,790,910 円	期中一部解約元本額 616,877,288 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第2期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第3期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
投資信託受益証券	30,294,805	237,215,013
親投資信託受益証券	51	49
合計	30,294,754	237,215,062

3 デリバティブ取引関係

第2期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第3期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4)附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考
----	----	-------------	--------	----

投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド - グローバル・インフラ・ストック・ファンド - 通貨セレクトクラス		3,025,044,108	
投資信託受益証券計	銘柄数：1		3,025,044,108	
	組入時価比率：95.6%		100.0%	
親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		100,098	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		100,098	
	組入時価比率：0.0%		0.0%	
合計			3,025,144,206	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（マネープールファンド）年2回決算型

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第5期計算期間(平成24年9月21日から平成25年3月21日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（マネープールファンド）年2回決算型

(1)貸借対照表

期別	第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
科目	金額(円)	金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	379,297	224,000
親投資信託受益証券	38,225,980	23,394,604
流動資産合計	38,605,277	23,618,604
資産合計	38,605,277	23,618,604
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金		23,559
未払受託者報酬	563	372
未払委託者報酬	4,998	3,412
その他未払費用	1	
流動負債合計	5,562	27,343
負債合計	5,562	27,343
純資産の部		
元本等		
元本	38,524,368	23,559,646
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	75,347	31,615
(分配準備積立金)	59,921	30,681
元本等合計	38,599,715	23,591,261
純資産合計	38,599,715	23,591,261
負債純資産合計	38,605,277	23,618,604

(2)損益及び剰余金計算書

期別	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
科目	金額(円)	金額(円)

営業収益		
受取利息	1,794	280
有価証券売買等損益	32,779	18,280
営業収益合計	34,573	18,560
営業費用		
受託者報酬	563	372
委託者報酬	4,998	3,412
その他費用	1	
営業費用合計	5,562	3,784
営業利益	29,011	14,776
経常利益	29,011	14,776
当期純利益	29,011	14,776
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	16,950	6,001
期首剰余金又は期首欠損金()	200,886	75,347
剰余金増加額又は欠損金減少額	91,459	8,577
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	91,459	8,577
剰余金減少額又は欠損金増加額	229,059	37,525
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	229,059	37,525
分配金		23,559
期末剰余金又は期末欠損金()	75,347	31,615

(3)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	当ファンドの計算期間は期末が休日のため、平成24年9月21日から平成25年3月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
1 計算期間の末日における受益権の総数 38,524,368 口	1 計算期間の末日における受益権の総数 23,559,646 口
2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0020 円 (10,000口当たり純資産額 10,020 円)	2 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0013 円 (10,000口当たり純資産額 10,013 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
1 分配金の計算過程 該当事項はございません。	1 分配金の計算過程 計算期末における分配対象金額141,078円(10,000口当たり59円)のうち、23,559円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	21,120 円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	86,838 円
分配準備積立金額	D	33,120 円
当ファンドの分配対象収益額	$E = A+B+C+D$	141,078 円
当ファンドの期末残存口数	F	23,559,646 口
10,000口当たり収益分配対象額	$G = E / F \times 10,000$	59 円
10,000口当たり分配金額	H	10 円
収益分配金額	$I = F \times H / 10,000$	23,559 円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
<p>1 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。</p>	<p>1 金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3 金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第4期 平成24年9月20日現在	第5期 平成25年3月21日現在
<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p>	<p>1 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p>

<p>2 時価の算定方法 親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載 しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額 は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時 価としております。</p>	<p>2 時価の算定方法 同左</p>
--	-------------------------

(関連当事者との取引に関する注記)

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、同左 一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわ れていないため、該当事項はございません。	

(その他の注記)

1 元本の移動

第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
期首元本額 137,017,511 円	期首元本額 38,524,368 円
期中追加設定元本額 53,989,498 円	期中追加設定元本額 4,089,229 円
期中一部解約元本額 152,482,641 円	期中一部解約元本額 19,053,951 円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

	第4期 自 平成24年3月22日 至 平成24年9月20日	第5期 自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日
種類	損益に含まれた評価差額(円)	損益に含まれた評価差額(円)
親投資信託受益証券	16,710	11,482
合計	16,710	11,482

3 デリバティブ取引関係

第4期(平成24年9月20日現在)

該当事項はございません。

第5期(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額(円)	備考

親投資信託受益証券	野村マネーマザーファンド		23,394,604	
親投資信託受益証券計	銘柄数：1		23,394,604	
	組入時価比率：99.2%		100.0%	
合計			23,394,604	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

参考

「野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨選択型）」の各ファンドは「野村マネー マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。
尚、同親投資信託の状況は次の通りです。

- 1 「野村マネー マザーファンド」の状況
以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

(1)貸借対照表

科目	対象年月日	平成25年3月21日現在 金額(円)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン		20,636,556
国債証券		1,733,691,619
特殊債券		281,381,340
現先取引勘定		869,721,600
未収利息		452,263
前払費用		344,579
流動資産合計		2,906,227,957
資産合計		2,906,227,957
負債の部		
流動負債		
未払金		299,986,400
未払解約金		521,888
流動負債合計		300,508,288
負債合計		300,508,288
純資産の部		
元本等		
元本		2,557,888,797
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()		47,830,872
元本等合計		2,605,719,669
純資産合計		2,605,719,669
負債純資産合計		2,906,227,957

(2)注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 国債証券及び特殊債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2 費用・収益の計上基準	(1) 有価証券売買等損益

3 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	約定日基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4 その他	(1) 現先取引 現先取引の会計処理については、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成20年3月10日）の規定によっております。

(貸借対照表に関する注記)

平成25年3月21日現在	
1 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.0187 円
(10,000口当たり純資産額)	10,187 円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 平成24年9月21日 至 平成25年3月21日	
1 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(3)附属明細表に記載しております。これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。
3 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行っております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行っております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行っております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行っております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

平成25年3月21日現在	
1 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は ありません。
2 時価の算定方法	国債証券及び特殊債券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価として しております。

(その他の注記)

平成25年3月21日現在

1 元本の移動及び期末元本額の内訳	平成24年9月21日
期首	
期首元本額	2,163,229,513 円
期首より平成25年3月21日までの期中追加設定元本額	1,808,630,888 円
期首より平成25年3月21日までの期中一部解約元本額	1,413,971,604 円
期末元本額	2,557,888,797 円
期末元本額の内訳*	
野村アフリカ株投資 マネープール・ファンド	3,345,147 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型	261,663,315 円
野村新中国株投資 マネープール・ファンド	65,581,187 円
野村日本ブランド株投資(マネープールファンド)年2回決算型	279,203,079 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型	16,797,779 円
野村ビクテ・ジェネリック&ゲノム マネープール・ファンド	3,834,897 円
野村RCM・グリーン・テクノロジー マネープール・ファンド	2,529,459 円
野村新興国消費関連株投信 マネープール・ファンド	7,808,513 円
野村世界業種別投資シリーズ(マネープール・ファンド)	8,728,632 円
ノムラ・アジア・シリーズ(マネープール・ファンド)	73,680,313 円
野村新エマージング債券投信(マネープールファンド)年2回決算型	23,853,482 円
野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マネープールファンド	18,530,073 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド) 年2回決算型	18,625,882 円
野村グローバルCB投信(マネープールファンド)年2回決算型	21,483,333 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネープールファンド) 年2回決算型	22,965,156 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(マネープールファンド) 年2回決算型	3,974,581 円
野村日本スマートシティ株投資 マネープールファンド	5,939,076 円
野村世界高金利通貨投信	151,953,753 円
野村新世界高金利通貨投信	982,608 円
コインの未来(毎月分配型)	3,965,894 円
コインの未来(年2回分配型)	991,474 円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609 円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609 円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)毎月分配型	98,261 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261 円

野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース)年2回決算型	9,826 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,261 円
野村日本ブランド株投資(円コース)毎月分配型	982,609 円
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)毎月分配型	982,608 円
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608 円
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261 円
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)毎月分配型	982,607 円
野村日本ブランド株投資(円コース)年2回決算型	982,608 円
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)年2回決算型	982,608 円
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608 円
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,260 円
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース)年2回決算型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)毎月分配型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	98,261 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	98,261 円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース)年2回決算型	98,260 円
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Aコース	982,608 円
野村PIMCO・グローバル・アドバンテージ債券投信 Bコース	98,260 円
野村新エマージング債券投信(円コース)毎月分配型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261 円
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型	982,607 円
野村新エマージング債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型	98,261 円
野村新エマージング債券投信(中国元コース)毎月分配型	982,607 円
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)毎月分配型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(円コース)年2回決算型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261 円
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型	98,260 円
野村新エマージング債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型	9,826 円
野村新エマージング債券投信(中国元コース)年2回決算型	982,608 円
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース)年2回決算型	98,261 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	984,834 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,834 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834 円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834 円

野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834 円
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	98,427,153 円
野村アジアCB投信(毎月分配型)	982,608 円
野村グローバルCB投信(円コース)毎月分配型	984,543 円
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543 円
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543 円
野村グローバルCB投信(円コース)年2回決算型	984,543 円
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543 円
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543 円
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	984,252 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型	984,252 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型	984,252 円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	984,252 円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	982,609 円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	982,609 円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	982,609 円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	982,609 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)毎月分配型	982,607 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	982,607 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	982,608 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261 円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261 円
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261 円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	983,768 円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	983,768 円
野村米国ブランド株投資(円コース)年2回決算型	983,768 円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	983,768 円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	983,768 円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)毎月分配型	983,672 円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	983,672 円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	983,672 円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)年2回決算型	983,672 円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	983,672 円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	983,672 円
野村テンプレトン・トータル・リターン Aコース	983,381 円
野村テンプレトン・トータル・リターン Bコース	98,261 円
野村テンプレトン・トータル・リターン Cコース	983,381 円
野村テンプレトン・トータル・リターン Dコース	983,381 円
野村高金利国際機関債投信(年2回決算型)	1,967 円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609 円

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,262 円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609 円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,261 円
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	983,091 円
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	983,091 円
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	983,091 円
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	983,091 円
ノムラ・アジア・コレクション(短期アジア現地通貨建て債券 Aコース)	982,995 円
ノムラ・アジア・コレクション(短期アジア現地通貨建て債券 Bコース)	98,260 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型	982,898 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース)毎月分配型	982,898 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	982,898 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,898 円
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898 円
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801 円
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401 円
野村グローバルREITプレミアム(円コース)毎月分配型	982,608 円
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,608 円
野村グローバルREITプレミアム(円コース)年2回決算型	982,608 円
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,608 円
野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,415 円
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,415 円
野村日本高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,415 円
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,415 円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)毎月分配型	982,029 円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,029 円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース)年2回決算型	982,029 円
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型	982,029 円
第1回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第2回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第3回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第4回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第5回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第6回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第7回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第8回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第9回 野村短期公社債ファンド	98,260 円
第10回 野村短期公社債ファンド	98,260 円
第11回 野村短期公社債ファンド	98,261 円
第12回 野村短期公社債ファンド	982,607 円
野村日本株ニュートラル投信(適格機関投資家転売制限付)	1,967,536 円
野村グローバル債券為替ファンド(適格機関投資家転売制限付)	1,358,370,347 円
野村DCテンプレート・トータル・リターン Aコース	9,818 円
野村DCテンプレート・トータル・リターン Bコース	9,818 円

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(3) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成25年3月21日現在)

該当事項はございません。

(2) 株式以外の有価証券

(平成25年3月21日現在)

種類	銘柄	券面総額(円)	評価額(円)	備考
国債証券	国庫債券 利付(2年)第303回	3,800,000	3,800,236	
	国庫債券 利付(2年)第305回	100,000,000	100,029,880	
	国庫短期証券 第332回	200,000,000	199,998,024	
	国庫短期証券 第334回	300,000,000	299,994,988	
	国庫短期証券 第335回	100,000,000	99,995,240	
	国庫短期証券 第336回	100,000,000	99,993,400	
	国庫短期証券 第339回	100,000,000	99,991,786	
	国庫短期証券 第341回	100,000,000	99,989,424	
	国庫短期証券 第342回	100,000,000	99,987,590	
	国庫短期証券 第344回	100,000,000	99,988,870	
	国庫短期証券 第345回	100,000,000	99,987,134	
	国庫短期証券 第346回	30,000,000	29,982,021	
	国庫短期証券 第347回	100,000,000	99,985,892	
	国庫短期証券 第348回	100,000,000	99,987,954	
	国庫短期証券 第350回	100,000,000	99,989,580	
	国庫短期証券 第354回	100,000,000	99,989,600	
国債証券計	銘柄数: 16	1,733,800,000	1,733,691,619	
	組入時価比率: 66.5%		86.0%	
特殊債券	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第316回	50,000,000	50,047,460	
	日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第320回	30,000,000	30,223,110	
	道路債券 政府保証第323回	30,000,000	30,312,662	
	公営企業債券 政府保証第825回	74,000,000	74,009,526	
	公営企業債券 政府保証第832回	17,000,000	17,130,306	
	農林漁業金融公庫債券 政府保証第2 回	29,000,000	29,279,856	
	しんきん中金債券 利付第227回	50,000,000	50,378,420	

特殊債券計	銘柄数：7	280,000,000	281,381,340	
	組入時価比率：10.8%		14.0%	
合計			2,015,072,959	

(注) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はございません。

2 ファンドの現況

原届出書の 第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

純資産額計算書

平成25年4月30日現在

「円コース（毎月分配型）」

資産総額	4,884,289,346	円
負債総額	136,903,798	円
純資産総額(-)	4,747,385,548	円
発行済口数	3,870,317,179	口
1口当たり純資産額(/)	1.2266	円

「円コース（年2回決算型）」

資産総額	2,642,232,439	円
負債総額	44,610,266	円
純資産総額(-)	2,597,622,173	円
発行済口数	1,920,332,461	口
1口当たり純資産額(/)	1.3527	円

「米ドルコース（毎月分配型）」

資産総額	8,766,420,663	円
負債総額	667,757,739	円
純資産総額(-)	8,098,662,924	円
発行済口数	5,648,910,478	口
1口当たり純資産額(/)	1.4337	円

「米ドルコース（年2回決算型）」

資産総額	5,776,953,259	円
負債総額	742,046,621	円
純資産総額(-)	5,034,906,638	円
発行済口数	3,117,947,409	口
1口当たり純資産額(/)	1.6148	円

「豪ドルコース（毎月分配型）」

資産総額	28,354,000,689	円
負債総額	698,100,716	円
純資産総額(-)	27,655,899,973	円
発行済口数	18,152,626,177	口
1口当たり純資産額(/)	1.5235	円

「豪ドルコース（年2回決算型）」

資産総額	2,901,670,407	円
負債総額	88,050,995	円
純資産総額(-)	2,813,619,412	円

発行済口数	1,482,440,792	口
1口当たり純資産額(/)	1.8980	円

「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」

資産総額	221,510,493,176	円
負債総額	4,318,554,773	円
純資産総額(-)	217,191,938,403	円
発行済口数	201,048,852,953	口
1口当たり純資産額(/)	1.0803	円

「ブラジルリアルコース（年2回決算型）」

資産総額	8,450,613,239	円
負債総額	242,624,741	円
純資産総額(-)	8,207,988,498	円
発行済口数	5,057,195,355	口
1口当たり純資産額(/)	1.6230	円

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」

資産総額	27,985,507,072	円
負債総額	1,073,168,569	円
純資産総額(-)	26,912,338,503	円
発行済口数	19,722,164,368	口
1口当たり純資産額(/)	1.3646	円

「通貨セレクトコース(年2回決算型)」

資産総額	6,020,466,564	円
負債総額	286,325,875	円
純資産総額(-)	5,734,140,689	円
発行済口数	3,602,432,872	口
1口当たり純資産額(/)	1.5917	円

「マネープールファンド（年2回決算型）」

資産総額	82,390,019	円
負債総額	54,499,218	円
純資産総額(-)	27,890,801	円
発行済口数	27,851,698	口
1口当たり純資産額(/)	1.0014	円

<ご参考>

「野村マネー マザーファンド」

資産総額	6,251,074,288	円
負債総額	631,858,698	円
純資産総額(-)	5,619,215,590	円
発行済口数	5,515,528,043	口
1口当たり純資産額(/)	1.0188	円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)資本金の額

平成24年10月末現在、17,180百万円

（以下略）

<訂正後>

(1)資本金の額

平成25年4月末現在、17,180百万円

（以下略）

2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の 第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況 につきましては、以下の内容に更新・訂正されます。

<更新・訂正後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は平成25年3月29日現在次の通りです（ただし、親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額（百万円）
追加型株式投資信託	757	12,037,850
単位型株式投資信託	50	417,227
追加型公社債投資信託	18	5,351,544
単位型公社債投資信託	6	69,626
合計	831	17,876,247

3 委託会社等の経理状況

[次へ](#)

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

原届出書の該当情報を以下の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

<訂正前>

(1)受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

*平成24年9月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

*平成24年9月末現在

<訂正後>

(1)受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	30,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

*平成25年3月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

*平成25年3月末現在

原届出書の 第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況 の該当部分を以下のように訂正するとともに、末尾に添付のように、最近中間会計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）の中間財務諸表（以下「中間財務諸表」といいます。）が追加されます。

下線部 _____ は訂正部分を示します。

<訂正前>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

<訂正後>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の財務諸表ならびに中間会計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

		平成24年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		215
金銭の信託		46,496
有価証券		2,400
短期貸付金		81
未収委託者報酬		7,671
未収収益		4,383
繰延税金資産		827
その他		560
貸倒引当金		6
流動資産計		62,630
固定資産		
有形固定資産	1	1,518
無形固定資産		8,817
ソフトウェア		8,815
その他		1
投資その他の資産		20,246
投資有価証券		4,849
関係会社株式		15,009
繰延税金資産		124
その他		263
固定資産計		30,582
資産合計		93,213

		平成24年 9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
短期借入金		3,000
関係会社短期借入金		4,500
未払収益分配金		4
未払償還金		49
未払手数料		3,323
その他未払金	2	907
未払費用		5,572
未払法人税等		424
賞与引当金		1,346
その他		99
流動負債計		19,228
固定負債		
退職給付引当金		1,636
時効後支払損引当金		492
固定負債計		2,128
負債合計		21,356
(純資産の部)		
株主資本		69,834
資本金		17,180
資本剰余金		11,729
資本準備金		11,729
利益剰余金		40,924
利益準備金		685
その他利益剰余金		40,239
別途積立金		24,606
繰越利益剰余金		15,633
評価・換算差額等		2,022
その他有価証券評価差額金		1,985
繰延ヘッジ損益		36
純資産合計		71,857
負債・純資産合計		93,213

中間損益計算書

		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		35,300
運用受託報酬		8,055
その他営業収益		81
営業収益計		43,436
営業費用		
支払手数料		18,135
調査費		7,937
その他営業費用		1,967
営業費用計		28,040
一般管理費	1	11,543
営業利益		3,852
営業外収益	2	2,327
営業外費用	3	52
経常利益		6,127
特別利益	4	152
特別損失	5	87
税引前中間純利益		6,192
法人税、住民税及び事業税		963
法人税等調整額		825
中間純利益		4,403

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間

（単位：百万円）

	自 平成24年 4月 1日
	至 平成24年 9月30日
株主資本	
資本金	
当期首残高	17,180
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	17,180
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
資本剰余金合計	
当期首残高	11,729
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	11,729
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	685
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	685
その他利益剰余金	
別途積立金	
当期首残高	24,606
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	-
当中間期末残高	24,606
繰越利益剰余金	
当期首残高	14,320
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,090
中間純利益	4,403
当中間期変動額合計	1,312
当中間期末残高	15,633
利益剰余金合計	
当期首残高	39,611

当中間期変動額	
剰余金の配当	3,090
中間純利益	4,403
当中間期変動額合計	1,312
当中間期末残高	40,924
株主資本合計	
当期首残高	68,521
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,090
中間純利益	4,403
当中間期変動額合計	1,312
当中間期末残高	69,834
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	2,693
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	708
当中間期変動額合計	708
当中間期末残高	1,985
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	12
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	24
当中間期変動額合計	24
当中間期末残高	36
評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,705
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	683
当中間期変動額合計	683
当中間期末残高	2,022
純資産合計	
当期首残高	71,227
当中間期変動額	
剰余金の配当	3,090
中間純利益	4,403
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	683
当中間期変動額合計	629
当中間期末残高	71,857

[重要な会計方針]

1 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>子会社株式及び関連会社株式... 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの... 中間決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております) 時価のないもの... 移動平均法による原価法</p>
2 デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	時価法
3 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
4 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。</p> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間に基づく定額法によっております。</p>
5 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払に備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>
6 リース取引の処理方法	<p>リース取引開始日が平成20年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>

7 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 ヘッジ会計は、原則として、時価評価されているヘッジ手段に係る損益を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部において繰り延べる方法によっております。 また、為替予約が付されている外貨建金銭債権については、振当処理を行っております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 - 為替予約 ヘッジ対象 - 投資有価証券、短期貸付金</p> <p>(3) ヘッジ方針 投資有価証券及び短期貸付金に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 為替変動リスクのヘッジにつきましては、そのリスク減殺効果を、対応するヘッジ手段ならびにヘッジ対象ごとに定期的に把握し、ヘッジの有効性を確かめております。</p>
8 消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。
9 連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。

[注記事項]

中間貸借対照表関係

平成24年 9月30日現在	
1 有形固定資産の減価償却累計額	2,992百万円
2 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。	

中間損益計算書関係

自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	218百万円
無形固定資産	1,869百万円
長期前払費用	4百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取配当金	1,872百万円
金銭の信託運用益	207百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
支払利息	36百万円
4 特別利益の内訳	
投資有価証券等売却益	59百万円
株式報酬受入益	85百万円
固定資産売却益	7百万円
5 特別損失の内訳	
投資有価証券売却損	60百万円
投資有価証券等評価損	9百万円
固定資産除却損	17百万円

中間株主資本等変動計算書関係

自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日				
1 発行済株式に関する事項				
	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少
	普通株式	5,150,693株	-	-
				当中間会計期間末
				5,150,693株
2 配当に関する事項				
	配当金支払額			
	平成24年 5月16日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。			
	・ 普通株式の配当に関する事項			
	(1) 配当金の総額		3,090百万円	
	(2) 1株当たり配当額		600円	
	(3) 基準日		平成24年 3月31日	
	(4) 効力発生日		平成24年 6月 1日	

リース取引関係

自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日	
1 ファイナンス・リース取引	
(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) 該当事項はありません。	
(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引(通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっているもの) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	
有形固定資産（器具備品）	
取得価額相当額	94百万円
減価償却累計額相当額	88
中間期末残高相当額	5
未経過リース料中間期末残高相当額	
1年内	6百万円
1年超	-
合計	6
支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	
支払リース料	16百万円
減価償却費相当額	15
支払利息相当額	0
減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	
利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。	
2 オペレーティング・リース取引	
未経過リース料	
1年内	16百万円
1年超	20
合計	36

金融商品関係

当中間会計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

平成24年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	215	215	-
(2)金銭の信託	46,496	46,496	-
(3)短期貸付金	81	81	-
(4)未収委託者報酬	7,671	7,671	-
(5)有価証券及び投資有価証券			
その他有価証券	6,431	6,431	-
(6)関係会社株式	3,064	69,809	66,745
資産計	63,960	130,705	66,745
(7)短期借入金	3,000	3,000	-
(8)関係会社短期借入金	4,500	4,500	-
(9)未払金	4,285	4,285	-
未払収益分配金	4	4	-
未払償還金	49	49	-
未払手数料	3,323	3,323	-
その他未払金	907	907	-
(10)未払費用	5,572	5,572	-
(11)未払法人税等	424	424	-
負債計	17,782	17,782	-
(12)デリバティブ取引（*）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	-	-	-
ヘッジ会計が適用されているもの	0	0	-
デリバティブ取引計	0	0	-

（*）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1)現金・預金、(3)短期貸付金、(4)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。ただし、短期貸付金は為替予約等の振当処理の対象とされており、円貨建債権とみて当該帳簿価額を以って時価としております。「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価格、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、投資信託は基準価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 短期借入金、(8) 関係会社短期借入金、(9) 未払金、(10) 未払費用、(11) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(12) デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照ください。

注2：非上場株式等（中間貸借対照表計上額：投資有価証券817百万円、関係会社株式11,945百万円）は、市場価格がなく、かつキャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

有価証券関係

当中間会計期間末（平成24年9月30日）

1. 満期保有目的の債券(平成24年9月30日)

該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式(平成24年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	69,809	66,745
合計	3,064	69,809	66,745

3. その他有価証券(平成24年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの			
株式	3,495	282	3,212
投資信託	-	-	-
小計	3,495	282	3,212
中間貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの			
株式	-	-	-
投資信託(1)	536	646	109
譲渡性預金	2,400	2,400	-
小計	2,936	3,046	109
合計	6,431	3,328	3,102

- (1) 当中間会計期間において、投資有価証券に係る為替変動リスクをヘッジするための為替予約取引についてヘッジ会計を適用しております。対応する繰延ヘッジ利益は36百万円（税効果会計適用後）であり、中間貸借対照表に計上しております。

デリバティブ取引関係

当中間会計期間（自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日）

1．ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

該当事項はありません。

2．ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

（1）通貨関連

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	契約額等のうち1年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	為替予約取引	投資信託	534	-	0	先物為替相場によっている
為替予約等の振当処理	為替予約取引	短期貸付金	81	-	(*1) -	-
合 計			616	-	(*1) 0	-

(*1) 為替予約等の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている短期貸付金と一体として処理されるため、その時価は当該短期貸付金の時価に含めて記載しております。

セグメント情報等

当中間会計期間(自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)

1．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2．関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

1 株当たり情報

自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日	
1 株当たり純資産額	13,950円94銭
1 株当たり中間純利益	854円88銭
(注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益につきましては、新株予約権付社債等潜在株式がないため、記載しておりません。	
2 . 1 株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。	
中間純利益	4,403百万円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る中間純利益	4,403百万円
期中平均株式数	5,150千株

独立監査人の中間監査報告書

平成24年11月22日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 満 雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 亀井 純 子指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重 俊 寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第54期事業年度の中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 上記は、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 満 雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 重 俊 寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田満雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田満雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重俊寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 満 雄指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 重 俊 寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年5月16日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 満 雄
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（マネープールファンド）年2回決算型の平成24年9月21日から平成25年3月21日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（マネープールファンド）年2回決算型の平成25年3月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)